

2023年 研究業績

[Researches and Social Works in 2023]

研究業績

■ 河田 惠 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
わが国のこれからの公共事業の進め方	単著	2023年 3月31日	政策研究センター	日本の公共事業'22, pp.12-21
3章 6節 都市化の進展と災害	単著	2023年 3月31日	兵庫県	兵庫県史 (第1巻), pp.272-288
3章 6節 高度経済成長の収束と災害	単著	2023年 3月31日	兵庫県	兵庫県史 (第2巻), pp.251-264
第1編 第1章 第3節 全国の主要都市における地震・水害被害の最小化	単著	2023年 9月 1日	(株)エヌ・ティーエス	都市防災ハンドブック, pp.27-41
第2編 第6節 阪神・淡路大震災に学ぶことから始まった都市部の地震防災と国難災害への対処	単著	2023年 9月 1日	(株)エヌ・ティーエス	都市防災ハンドブック, pp.239-250
1-9 減災サイクル	単著	2023年 9月 1日	朝倉書店	災害復興学事典, pp.18-19
解説 古今東西の事例にもとづく津波の総合検証	単著	2023年10月 2日	みすず書房	津波, pp.303-312
災害の『相転移』を利用した被害軽減策の提案	単著	2023年10月12日	三和書籍	永遠の隣国 私たちの日中五十年, pp.196-206
(学術論文)				
変貌する災害列島と縮災 No.81 SDGsの第1目標の「貧困をなくそう」は、わが国では「災害をなくそう」です	単著	2023年 1月 1日	ウォータアンドライフ社	Water&Life No.681, p.26
東京都心の地下空間水没なら都市機能は完全にマヒする	単著	2023年 1月16日	日本経済新聞社	日経グローバル No.452, pp.46-47
変貌する災害列島と縮災 No.82 自治体の首長は土地の歴史を学んでいなければならない。	単著	2023年 2月 1日	ウォータアンドライフ社	Water&Life No.682, p.22
東京ゼロメートル地帯の高潮による長期水没	単著	2023年 2月16日	日本経済新聞社	日経グローバル No.454, pp.48-49
変貌する災害列島と縮災 No.83 防災問題は、『科学的』にすべて解決できるわけではない。	単著	2023年 3月 1日	ウォータアンドライフ社	Water&Life No.683, p.22
防災の観点から必要な原子力発電所の定期的な公的安全審査	単著	2023年 3月 1日	日本原子力学会	アトモス Vol.65 No.3, p.10
電線地中化がもたらす施設水没と漏電・感電事故	単著	2023年 3月20日	日本経済新聞社	日経グローバル No.456, pp.38-39
巻頭言	単著	2023年 3月31日	関西大学社会安全学部	社会安全学研究 Vol.13, pp.1-3
令和4年度職員トップセミナー 首都直下地震など国難災害から我が国を守る	単著	2023年 3月16日	財務省	ファイナンス No.688, pp.76-83
変貌する災害列島と縮災 No.84 『災害の相転移』現象で再び巨大災害となったトルコ・シリア地震	単著	2023年 4月 1日	ウォータアンドライフ社	Water&Life No.684, p.22
南海トラフ地震を国難災害としない取り組み	単著	2023年 3月31日	関西サイエンス・フォーラム	関西サイエンス・フォーラム 第100号, pp.2-3
天災+人災=人新災 総花的対策では限界 命を守る防災政策で安全・安心の社会を	単著	2023年 4月17日	日本経済新聞社	日経グローバル No.458, pp.34-35
変貌する災害列島と縮災 No.85 1999年トルコ・イズミット地震の教訓を再度、活かす	単著	2023年 5月 1日	第三文明社	灯台 No.752, pp.72-73
利根川、堤防を越える越流氾濫の危険性	単著	2023年 5月15日	ウォータアンドライフ社	Water&Life No.685, p.22
わが国の国家安全保障は国難災害も対象とせよ！	単著	2023年 5月20日	日本経済新聞社	日経グローバル No.460, pp.94-95
変貌する災害列島と縮災 No.86 生き生きと働き続けられれば、安全・安心社会につながる	単著	2023年 6月 1日	公益財団法人NIRA 総合研究開発機構	日本と世界の課題2023, p.33
特集1 水害はなぜ起こるのか——日本の特徴—— https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-202306_01.pdf	単著	2023年 6月15日	ウォータアンドライフ社	Water&Life No.686, p.22
	単著	2023年 6月15日	独立行政法人 国民生活センター	国民生活 No.130, pp.1-4

激しい豪雨で変貌する災害 土砂・洪水災害から連滝災害へ	単著	2023年6月19日	日本経済新聞社	日経グローバル No.462, pp.60-61
企業の考えるべき自然災害に対する心構えと備え	単著	2023年6月22日	(株)自然総研	トイロビジネス Vol.201, pp.8-9
変貌する災害列島と縮災 No.87 今こそ防災政策を最優先する覚悟が国政を担う政治家には必要	単著	2023年7月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.687, p.22
スーパー洪水は完全に防げない 住民にも理解を求める必要	単著	2023年7月17日	日本経済新聞社	日経グローバル No.464, pp.44-45
変貌する災害列島と縮災 No.88 安倍晋三回顧録の衝撃～災害現場の失敗が伝わっていない	単著	2023年8月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.688, p.22
「首都直下地震で津波が来ない」は本当か 乏しい根拠データ、被害拡大の恐れも	単著	2023年8月21日	日本経済新聞社	日経グローバル No.466, pp.56-57
変貌する災害列島と縮災 No.89 関東大震災100年で気がついた教訓	単著	2023年9月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.689, p.22
都市災害のリスクとその対処方法	単著	2023年9月1日	一般財団法人 交通経済研究所	運輸と経済 No.915, pp.13-20
巨大高潮災害の脅威は3大都市圏共通 歴史を振り返りいかに防ぐかを考える	単著	2023年9月18日	日本経済新聞社	日経グローバル No.468, pp.42-43
変貌する災害列島と縮災 No.90 地球温暖化をもたらす自然災害の新たな被害像	単著	2023年10月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.690, p.22
台風や線状降水帯による豪雨で東京都心部の地下は水没する	単著	2023年10月16日	日本経済新聞社	日経グローバル No.470, pp.44-45
人新世で起こる災害は『人新災』	単著	2023年10月20日	一般財団法人 全国地質調査業協会連合会	60周年記念誌 p.20
わが国の国難災害の不安、そして気候変動による世界経済の破綻	単著	2023年10月27日	(株)パスコ	伝承未来、パスコ創業70周年記念誌 pp.114-115
変貌する災害列島と縮災 No.91 関東大震災からの創造的復興をこれからも継続しよう.	単著	2023年11月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.691, p.2
災害廃棄物仮置場滞留量からみた復旧の質(QOR)に関する検討	共著	2023年11月1日	地域安全学会	地域安全学会論文集 No.43, pp.337-343 (査読有) 共著者: 平山修久
国難級災害の連続発生から首都圏をどう守るか	単著	2023年11月20日	日本経済新聞社	日経グローバル No.472, pp.44-45
変貌する災害列島と縮災 No.92 これからの洪水対策は、川幅を拡げることが肝要	単著	2023年12月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.692, p.22
「地下は安全」という神話の嘘 大災害につながる危険性周知を	単著	2023年12月18日	日本経済新聞社	日経グローバル No.474, pp.52-53
(その他、論考・研究資料等)				
防災の知恵、絵本で世界へ		2023年1月7日	毎日新聞	
見て、聞いて、学ぶ教訓共有		2023年1月8日	神戸新聞	
熊野高など表彰 ほうさい甲子園		2023年1月9日	毎日新聞	
大規模災害に備えて防災や減災の推進を		2023年1月16日	水道産業新聞	
国際防災・人道支援協議会 設立20周年フォーラム		2023年1月16日	兵庫ジャーナル	
県民会議が「安全の日宣言」		2023年1月17日	神戸新聞	
国際防災・人道支援フォーラム		2023年1月21日	朝日新聞	
ひょうご安全の日のつどい 命守る防災進める		2023年1月23日	兵庫ジャーナル	
阪神・淡路教訓 世界で実践を		2023年1月25日	神戸新聞	
DRA フォーラム2023 災害文化の継承 海を越えて		2023年2月2日	朝日新聞	
DRA フォーラム “災害文化の継承”と“国難災害への備え”を		2023年2月13日	兵庫ジャーナル	
迫る国難災害を防ぐ4つの鍵		2023年3月11日	産経新聞	

研究業績

連載「巨大災害に備える」南海トラフ巨大地震への政府と自治体の備え		2023年3月13日	兵庫ジャーナル	
防災100年えほんプロジェクト「ものがたり」10作品決定		2023年3月27日	兵庫ジャーナル	
大阪IRの焦点 防災面でとても心配		2023年4月9日	大阪日日新聞	
「創造的復興」でウクライナ支援 第1回検討会		2023年4月24日	兵庫ジャーナル	
防災絵本原案入選10作品公開「生き抜くヒント」物語で表現		2023年5月2日	神戸新聞	
巨大地震 政府の指揮権明確に		2023年5月3日	産経新聞	
21世紀研究機構シンポ 「災害の相転移に警鐘」		2023年5月15日	兵庫ジャーナル	
広域的に平時・災害時の備えを		2023年5月30日	建設通信新聞	
災害列島に生きる「複合災害」に備える		2023年6月15日	読売新聞	
「ほうさい甲子園」募集		2023年6月16日	毎日新聞	
「災害時の行動」事前に整理を		2023年6月26日	朝日新聞	
西日本豪雨5年 防災・復興 長期的視点で		2023年7月4日	読売新聞	
まちづくりレベルで防災必要		2023年7月17日	産経新聞	
防災の知恵 絵本で語り継ぐ		2023年7月29日	神戸新聞	
トップフォーラム in 神奈川「災害時の危機対応学ぶ」		2023年8月2日	神奈川新聞	
「ケア人材育成へ準備委設置」ウクライナ支援第2回検討会		2023年8月21日	兵庫ジャーナル	
広島土砂災害 教訓継ぐ場		2023年8月25日	読売新聞	
防災の日特集 関東大震災100年 国難災害国あげて迎え撃て		2023年9月1日	産経新聞	
人防企画展「関東大震災100年」テーマ		2023年9月11日	兵庫ジャーナル	
生徒らの取り組み評価「ほうさい甲子園」		2023年9月18日	神戸新聞	
神戸学院大学現代社会学部 開設10周年記念式典		2023年11月4日	神戸新聞	
関東大震災100年 都市災害考える		2023年11月7日	神戸新聞	
ほうさい甲子園受賞校・団体決まる		2023年12月1日	毎日新聞	
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
基調報告「南海トラフ地震に対峙する西日本の事前復興」	単独	2023年9月5日	危機管理防災学会	On Line シンポジウム「国難級災害から復興の備え～被災地と国土の事前復興～」
南海トラフ巨大地震に向けて過去から何を学ぶべきか～1923年関東大震災、2023年トルコ・シリア地震など～	単独	2023年9月7日	土木学会	土木学会地震工学研究発表会（沖縄県那覇市市町村自治会館）
(招待講演)				
新しい価値観に基づく防災対策～相転移災害の発生を阻止する～	単独	2023年1月12日	一般社団法人兵庫県建築会	兵庫県建築会75周年記念講演（兵庫県神戸市東急REIホテル三宮）
「行政の災害対策と危機管理」「自主防災活動と地区防災計画」	単独	2023年1月13日	NTT-LS	NTT-LS防災士育成研修（大阪府大阪市梅田DTタワー）
災害にレジリエントな地域をつくる	単独	2023年1月19日	株式会社防災ログ	世界防災フォーラム BOSAI WEEK 講演（オンライン）
災害多発・激化時代の防災対策	単独	2023年1月21日	石川県	石川県危機管理フォーラム（石川県金沢市石川県地場産業振興センター）
国難災害と緊急事態について	単独	2023年1月23日	ニューレジリエンスフォーラム大阪事務局	ニューレジリエンス関連 経済界医療界対象講演 第1回研修会（大阪府大阪市 TKP・心斎橋駅前カンファレンスセンター）
人と防災未来センター20年と新たな挑戦	単独	2023年1月24日	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会	DRAフォーラム（兵庫県神戸市神戸ポートピアホテル）

いつまでも住み続けたいまちづくり～国連のSDGsと防災対策～	単独	2023年1月25日	大阪府中部市議会議長会	大阪府中部市議会議長会議員研修会（大阪府東大阪市クリエイション・コア東大阪南館）
災害にレジリエントな地域をつくる	単独	2023年1月28日	兵庫県広域防災センター	兵庫県防災リーダー研修（兵庫県三木市兵庫県広域防災センター）
これからの防災について	単独	2023年2月2日	タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議	タイムライン防災・カンファレンス2022 in 東京（板橋区・足立区）（東京都足立区西新井文化ホール）
千葉県における自然災害とその対応	単独	2023年2月3日	人と防災未来センター・千葉県	トップフォーラム千葉（オンライン）
内閣防災省（庁）創設までの道のり	単独	2023年2月3日	関西広域連合	震災対策技術展横浜（神奈川県横浜市パシフィコ横浜）
夢洲防災問題	単独	2023年2月6日	No! 大阪IR・カジノ	超党派国会議員勉強会（オンライン）
岐阜県の災害リスクと必要な危機管理～対策先行型に向けた企業が取るべき対応～	単独	2023年2月16日	一般社団法人岐阜県経営者協会中濃支部	岐阜県経営者協会中濃支部セミナー（岐阜県美濃加茂市シティホテル美濃加茂）
地球温暖化時代にグローバルに変わる災害環境～現行のSDGsは不十分だ～	単独	2023年3月2日	大規模災害対策研究機構	CDRセミナー（大阪府大阪市マイドームおおさか）
防災絵本100年計画の挑戦	単独	2023年3月11日	人と防災未来センター・Tell-Net	World BOSAI Forumセッション防災100年えほんプロジェクト・フォーラム in 仙台（宮城県仙台市仙台国際センター）
「災害の相転移」の存在を社会に広く認めてもらいたい	単独	2023年3月14日	JAPIC	JAPIC 防災委員会（東京都中央区鉄鋼会館6階）
関東大震災から100年 国難災害に至急、備える	単独	2023年3月21日	国士館大学 日本災害情報学会	関東大震災100年シンポジウム（東京都世田谷区国士館大学世田谷キャンパス）
教育旅行プログラムの充実に向かって～熊本県の観光振興～	単独	2023年3月22日	熊本県観光連盟	熊本県教育旅行プログラムブラッシュアップのためのアドバイザー招聘事業（熊本県益城町ミナミテラス）
緊急事態条項の観点	単独	2023年5月3日	民間憲法臨調	第25回公開憲法フォーラム（東京都千代田区砂防会館）
南海トラフ地震のこれまでの減災研究と今後の展開	単独	2023年5月10日	ひょうご震災記念21世紀研究機構	南海トラフ研究会シンポジウム（兵庫県神戸市ホテルクラウンパレス神戸）
危機管理Ⅱ（災害危機管理）	単独	2023年5月17日	総務省消防大学校	消防大学校危機管理・国民保護コース（東京都調布市総務省消防大学校）
BCP（事業継続計画）セミナー 縮災対策編～パンデミック・新しい働き方時代に合わせた災害文明から災害文化への転換～	単独	2023年5月18日	NTT Com	NTT Comセミナー（大阪府大阪市NTT西日本研修センター）
パネルディスカッション「これからの国際防災協力・人道支援と日本／兵庫の役割」	単独	2023年5月22日	国際防災・人道支援協議会	故大島賢三元国連大使を偲ぶシンポジウム（兵庫県神戸市人と防災未来センター）
南海トラフ巨大地震が起これば、梅田界隈でどのような危険があるのか	単独	2023年6月2日	曽根崎防犯協会	曽根崎防犯協会定例研修会（大阪府大阪市大阪東急REIホテル）
明治黎明期から始まるわが国の防波堤の技術革新	単独	2023年6月7日	JAPIC	JAPIC 防災委員会（東京都千代田区鉄鋼会館）
災害にレジリエントなまちづくり	単独	2023年6月8日	防犯防災総合展事務局	防犯防災総合展（大阪府大阪市インテックス大阪）
防災省（庁）の早期創設必要性について	単独	2023年6月8日	関西広域連合	防犯防災総合展（大阪府大阪市インテックス大阪）
地域活動やボランティア活動に役立つ防災の知識	単独	2023年6月9日	日本赤十字大阪府支部	赤十字奉仕団ボランティア研修（大阪府大阪市大阪赤十字会館）
大阪を持続可能な大都市に脱皮させる！	単独	2023年6月12日	佐藤章事務所	EPE研究会（大阪府大阪市シェラトン都ホテル大阪）
危機対応組織論	単独	2023年6月20日	人と防災未来センター	春期 災害対策専門研修アドバンス（兵庫県神戸市人と防災未来センター）
明治黎明期から始まるわが国の防波堤物語の断章	単独	2023年6月23日	一般社団法人全国海岸協会	海岸セミナー・海岸功労者表彰（東京都港区ヤクルト本社ビルニッショーホール）
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年7月1日	日本会議広島	日本会議広島（広島県広島市広島国際会議場）

研 究 業 績

国難災害を阻止できる『相転移』の活用	単独	2023年7月6日	震災対策技術展事務局	震災対策技術展大阪（大阪府大阪市マイドームおおさか）
南海トラフ巨大地震と相転移	単独	2023年7月7日	LSO	震災対策技術展大阪（大阪府大阪市マイドームおおさか）
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年7月9日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム奈良大会（奈良県奈良市ホテル日航奈良）
自然災害や感染症に強い社会をつくる	単独	2023年7月12日	内外情勢調査会	内外情勢調査会岡崎支部講演会（愛知県岡崎市岡崎ニューグランドホテル）
最新防災論	単独	2023年7月13日	人と防災未来センター	人防友の会講演（兵庫県神戸市人と防災未来センター）
明治黎明期から始まるわが国の防波堤の技術革新～失敗から学ぶ！～	単独	2023年7月15日	失敗学会	失敗学会夏の大会（大阪府大阪市大阪産業創造館）
相転移による南海トラフ巨大地震の企業防災	単独	2023年7月21日	BERC	BERC オープンセミナー（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
神奈川県における自然災害とその対応	単独	2023年8月1日	神奈川県	トップフォーラム神奈川（神奈川県横浜市神奈川県職員キャリア開発支援センター）
最近の気象災害の特徴と防災	単独	2023年8月7日	大東市	大東市区長会（大阪府大東市大東市立市民会館）
危機管理総論	単独	2023年8月25日	日本危機管理士機構	日本危機管理士機構 危機管理士講座（東京都千代田区ワイム貸会議室お茶の水）
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年8月27日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム石川大会
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年8月28日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム宮城大会
失敗しない首都直下地震対策に向かって	単独	2023年8月28日	国土交通省	関東大震災100年記念シンポジウム～都市とインフラから見た関東大震災と首都直下地震への備え～
地球温暖による水害の変化とくに内水氾濫災害の激増	単独	2023年8月31日	鳥取県	防災対策研究会（鳥取県鳥取市県庁第二庁舎）
災害文化と災害文明の連携によるリスクコミュニケーション	単独	2023年9月3日	日本災害看護学会	日本災害看護学会第25回年次大会特別講演
徳島県の災害リスクと必要な危機管理～	単独	2023年9月4日	内外情勢調査会	内外情勢調査会徳島支部講演会（徳島県徳島市徳島グランヴィリオホテル）
国難（パンデミック含む）と地域の災害に備える	単独	2023年9月9日	兵庫県広域防災センター	ひょうご防災リーダー養成講座（兵庫県三木市兵庫県広域防災センター）
「行政の災害対策と危機管理」「自主防災活動と地区防災計画」	単独	2023年9月10日	(株)NTT ExC パートナー	防災土育成研修熊取町（大阪府熊取町熊取町立総合保健福祉センター）
南海トラフ巨大地震を国難災害としないための解決策	単独	2023年9月18日	日本薬剤師会	日本薬剤師会学術大会分科会（和歌山県和歌山市和歌山城ホール）
南海トラフ巨大地震に向けて過去から何を学ぶべきか～1923年関東大震災 2023年トルコ・シリア地震など～	単独	2023年9月20日	JAPIC	JAPIC 防災委員会（東京都千代田区鉄鋼会館）
国家防災政策論	単独	2023年9月20日	国際都市研究学院	国際都市研究学院2023年度講義（東京都港区国際都市研究学院）
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年9月24日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム青森大会
国家防災政策論	単独	2023年10月14日	国際都市研究学院	国際都市研究学院2023年度講義（東京都港区国際都市研究学院）
田尻町が素敵なまちに变身する～町民の知恵が必要だ～	単独	2023年10月15日	田尻町	田尻町政70周年記念事業講演会（大阪府泉南郡田尻町立公民館）
自分ごととして国難級の災害に備える	単独	2023年10月17日	内外ニュース	内外ニュース周南懇談会（山口県周南市ホテルサンルート）
地域活動やボランティア活動に役立つ防災の知識～災害時、地域で中心的な皆さまに求められるもの～	単独	2023年10月19日	日本赤十字社	赤十字奉仕団ボランティア研修（大阪府大阪市大阪赤十字会館）
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年10月21日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンス広島大会（広島県広島市広島国際会議場）

国家防災政策論	単独	2023年10月25日	国際都市研究学院	国際都市研究学院2023年度講義（東京都港区国際都市研究学院）
日本に大災害の備えはあるか	単独	2023年11月5日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム埼玉大会（埼玉県さいたま市県民健康センター）
鹿児島県における自然災害とその対応	単独	2023年11月6日	鹿児島県	トップフォーラム鹿児島（鹿児島県鹿児島市ホテル自治会館）
日本に大災害の備えはあるのか 世界一美しい文化国家を大災害から守る	単独	2023年11月7日	日本女性の会	日本女性の会代表者会議（東京都千代田区参議院議員会館）
国難災害の切り札としての「相転移」の利用	単独	2023年11月10日	春日井市	春日井安全アカデミー（愛知県春日井市春日井市役所）
国難災害を阻止できる『相転移』の活用	単独	2023年11月11日	NPO 法人健康まちづくり推進協会	防災市民サミット（兵庫県神戸市兵庫民会館）
「防災総論Ⅰ」「防災総論Ⅱ」	単独	2023年11月18日	福岡市	博多あん・あん塾（福岡県福岡市市民防災センター）
日本に大災害の備えはあるか～世界一美しい文化国家を大災害から守る～	単独	2023年11月19日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	自民党福知山支部 防災と憲法を考えるフォーラム in 福知山（京都府福知山市ハピネス福知山）
日本国憲法に緊急事態条項を明記する！	単独	2023年11月25日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム神奈川大会（神奈川県横浜市かながわ県民共済みらいホール）
首都直下地震や南海トラフ地震を国難級災害にしない対処方法	単独	2023年12月1～22日オンライン配信	防災ログ実行委員会	防災・減災オンラインセミナー
日本国憲法に緊急事態条項を明記する！	単独	2023年12月2日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム千葉大会（千葉県千葉市ホテルグリーンタワー幕張）
近年の気象災害について	単独	2023年12月3日	四日市市	四日市市防災講義（三重県四日市市総合会館）
「行政の災害対策と危機管理」「自主防災活動と地区防災計画」	単独	2023年12月7日	(株)NTT ExC パートナー	防災士養成研修（大阪府大阪市梅田DTタワー会議室）
阪神・淡路大震災からもうじき30年 世界の防災研究は進んだのか	単独	2023年12月15日	JAPIC	JAPIC 防災委員会（東京都千代田区鉄鋼会館）
日本国憲法に緊急事態条項を明記する！	単独	2023年12月17日	ニューレジリエンスフォーラム事務局	ニューレジリエンスフォーラム愛媛大会（愛媛県松山市 ANA クラウンプラザホテル）
(河田防災塾)				
東日本大震災の復興の失敗原因	単独	2023年1月26日	関西大学	令和4年度8回河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
1959年伊勢湾台風災害	単独	2023年3月16日	関西大学	令和4年度9回河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
自然災害を危機管理するとはどういうことか	単独	2023年9月21日	関西大学	令和5年度1回河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
地震災害	単独	2023年10月12日	関西大学	令和5年度2回河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
津波災害	単独	2023年11月9日	関西大学	令和5年度3回河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
津波災害（2）	単独	2023年12月13日	関西大学	令和5年度4回河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費基盤研究 (B)	代表	2022～2024	5,624 (19,910)	相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本災害情報学会（元会長）、名誉会員 日本自然災害学会（元会長）理事、評議員 土木学会名誉会員・フェロー				

研 究 業 績

<p>日本地震工学会 日本自治体危機管理学会 日本災害復興学会</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>日本自然災害学会, 評議員 大阪府, 大阪府防災会議委員 大阪府, 地震津波災害対策等検討部会, 部長 大阪市, 大阪港地震・津波対策連絡会議, オブザーバー 兵庫県, 災害救急医療システム運営協議会委員 兵庫県, ひょうご安全の日推進県民会議 企画委員長 兵庫県, 防災教育副読本改訂検討委員会 委員長 兵庫県, 兵庫県防災会議委員 兵庫県, 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会委員 兵庫県, 「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会委員 三重県, 防災会議専門部会「防災・減災対策検討会議」委員 三重県, 政策アドバイザー 奈良県, 地域防災計画検討委員会 委員長 岡山県, 防災アドバイザー 高知県, 南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー 関西広域連合, 関西広域防災計画策定委員会 委員長 関西広域連合, 広域計画等推進委員会 委員 鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 経営諮問会議 委員長 東北大学, 災害科学国際研究所共同利用・共同研究運営委員会 委員 全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員 (一財) 防災研究協会, 業務運営委員 (一社) 日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会/防災委員会 委員長 (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査部「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員 (公財) 兵庫県住宅再建共済基金運営協議会委員 (公財) 計算科学振興財団 評議員 (公財) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員 濱口梧陵国際賞(国土交通大臣賞) 選考委員会 委員長 世界発信コンペティションサービス部門審査会委員 (株)新興出版社啓林館 小・中学校教科書監修, 執筆 タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議 技術顧問</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>海岸功労者表彰(一般社団法人 全国海岸協会) 人と防災未来センター センター長 (2002年～現在) 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 理事長 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事長 特定非営利活動法人 人・家・街 安全支援機構 理事長</p>

■ 一 井 康 二

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Application of Stress Parameter from Liquefaction Analysis on the Landslide Induced Tsunami Simulation: A Case Study of the 2018 Palu Tsunami	共著	2023年1月	富士技術出版	Journal of Disaster Research Vol.18 No.3, 2023, 共著者：Karina Aprilia Sujatmiko, Soichiro Murata, Iyan Eka Mulia (査読 有)
被圧地下水の流入を考慮した液状化による 地すべりの再現の試み	共著	2023年1月	公益社団法人 地盤 工学会 中国支部	地盤と建設, Vol.40, No.1, pp.65-71, 2022. 共著者：村田宗一郎 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 水の流入を考慮した液状化時大規模流動の V&Vの試み	共同	2023年5月31日	日本計算工学会	第28回計算工学講演会, つくば国際会議 場, 共著者：村田宗一郎
地盤の不均質性を考慮した被圧地下水流水 時の地盤流動解析	共同	2023年9月7日	土木学会	第43回地震工学研究発表会, 沖縄県市町 村自治会館, 共著者：村田宗一郎
水の流入を考慮した地震時大規模地すべり の再現実験の試み	共同	2023年9月7日	土木学会	第43回地震工学研究発表会, 沖縄県市町 村自治会館, 共著者：西田理察
地震による道路陥没ポテンシャルマップ作 製における課題	共同	2023年9月7日	土木学会	第43回地震工学研究発表会, 沖縄県市町 村自治会館, 共著者：岡本順平
2023年トルコ・シリア地震における倒壊・ 非倒壊建築物の差異分析	共同	2023年9月7日	土木学会	第43回地震工学研究発表会, 沖縄県市町 村自治会館, 共著者：後藤永鉄
建築物の外観耐震診断の可能性 ～2023年トルコ・シリア地震の事例分析～	共同	2023年9月7日	土木学会	第43回地震工学研究発表会, 沖縄県市町 村自治会館, 共著者：山本真規子
(招待講演) 防災教育から、STEM教育へ～Science, Technology, Engineering, Mathematics～	単独	2023年8月7日	大阪淀川ロータリー クラブ	例会卓話
以下、フリー記入				
(所属学会) 土木学会, 地盤工学会, 日本地震工学会, 日本地すべり学会				
(社会貢献活動) 一般社団法人 FLIP コンソーシアム, 理事および特別顧問 土木学会地震工学委員会, 委員 土木学会地震工学委員会, 地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関する研究小委員会, 委員 土木学会調査研究部門 原子力土木委員会 技術文書審議タスクメンバー (地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会担当) 土木学会地震工学委員会, 耐震基準小委員会, 復旧性WG 主査 関西ライフライン研究会, 座長 第8回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実行委員会 幹事 一般財団法人沿岸技術研究センター, 令和5年度海洋・港湾構造物維持管理資格制度, 講習・研修小委員会, 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 日本BCP株式会社との共同研究 ジオ・サーチ株式会社との共同研究				

研究業績

■ 伊藤大輔

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) ドライバ体調急変時の緊急停止スイッチ操作法の研究	共著	2023年1月	自動車技術会	自動車技術会論文集, Vol.54, No.1, 75-80, 田中敏章, 小林駿太, 伊藤大輔, 國行浩史 (査読あり)
(その他, 論考・研究資料等) 自転車事故でのヘルメット保護効果と着用促進のための考察	単独	2023年10月	安全工学会	安全工学, vol.62, No.5, 291-297
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 有限要素解析による対四輪車衝突時の6歳児自転車乗員挙動分析	共同	2023年5月26日	自動車技術会	自動車技術会2023年春季大会, パシフィコ横浜 (横浜市)
(招待講演) Biomechanical responses of human FE models in bookshelf overturning	単独	2023年3月30日	株式会社 JSOL	The 2023 THUMS® Users' Meeting Japan, 九段会館テラス (東京都)
人体FEモデルを用いた自動車対自転車乗員衝突時の挙動解析	単独	2023年7月12日	自動車技術会	自動車技術会フォーラム「二輪車・自転車乗員の安全に向けて」, オンライン
沖縄の交通事故の特徴と自動車安全の現状	単独	2023年11月23日	関西大学教育講演会 関西大学校友会	関西大学, 関西大学教育講演会, 関西大学校友会 特別講演「沖縄の安全と豊かな社会を考える」, パシフィックホテル沖縄 (那覇市)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 関西大学若手研究者育成経費	代表	2022~2023年度	100 (1,500)	深層学習を用いたドライブレコーダ映像からの危険箇所の予測による運転行動への影響評価
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 自動車技術会 日本交通科学学会				
(社会貢献活動) 自動車技術会 インパクトバイオメカニクス部門委員会 幹事 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 前突分科会 委員 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 側突分科会 委員 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 歩行者保護分科会 委員 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 学術講演会運営委員会 委員 (2020.11~ 継続中) 日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 代議員 (2021.04~ 継続中) 日本交通科学学会 評議員 (2021.07~ 継続中)				

■ 奥村 与志弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Simulation of supply chain disruptions considering establishments and power outages	共著	2023年7月7日	PLOS ONE	Inoue H, Okumura Y, Torayashiki T, Todo Y, PLoS ONE 18(7): e0288062. (査読有)
津波避難トリガーにみる日本人とインドネ シア人の相違点	共同	2023年9月8日	土木学会	山科華菜, 奥村与志弘, Karina A. SUJATMIKO, 第43回地震工学研究発表 会講演論文集, D24-213, 4 p.
避難開始における論理的判断と直感的判断 の関係に関する一考察	共同	2023年9月8日	土木学会	高橋佑介, 奥村与志弘, 第43回地震工学 研究発表会講演論文集, D23-232, 6 p.
訓練, 意向調査, 実災害の比較による津波 避難開始行動分析	共同	2023年9月8日	土木学会	山本桃華, 奥村与志弘, 第43回地震工学 研究発表会講演論文集, D23-133, 4 p.
住民の参集状況が避難開始に及ぼす影響	共同	2023年9月8日	土木学会	高井環, 奥村与志弘, 第43回地震工学研 究発表会講演論文集, D23-125, 6 p.
都道府県が対応した危機事象の多様性	共同	2023年11月	地域安全学会	庄司秀明, 奥村与志弘, 地域安全学会論 文集, No.43, pp.179-188. (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 誰もが選択できる防災を	単著	2023年2月20日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊2面, 関大 社会安全学 部リレーコラム
大阪駅周辺に有効な津波防災を	単著	2023年5月8日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊2面, 関大 社会安全学 部リレーコラム
巨大災害と災害関連死 どう備える? 『あきらめないこと』の大切さ	単著 単著	2023年8月21日 2023年8月27日	兵庫ジャーナル社 朝日新聞社	『週刊 兵庫ジャーナル』特別寄稿 『朝日新聞』広告記事, 子ども新聞2023寄 稿文.
揺れなくても津波予報 避難を	単著	2023年10月16日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊2面, 関大 社会安全学 部リレーコラム
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 東日本大震災における気仙沼市の関連死発 生プロセス	共同	2023年3月17日	東日本大震災・原子 力災害学術研究会	山崎健司, 奥村与志弘, 東日本大震災・ 原子力災害学術研究会予稿集, pp.125 -126, コラッセふくしま (福島県福島 市).
過去20年間に対応した危機事象の種類に関 する都道府県別比較	共同	2023年5月27日	地域安全学会	庄司秀明, 奥村与志弘, 地域安全学会梗 概集, No.52, pp.77-78, 2023年5月27 日, 神奈川大学みなとみらいキャンパス (神奈川県横浜市)
介護サービス受給者の災害関連死に関する 一考察	共同	2023年9月17日	自然災害学会	八木亮介, 奥村与志弘, 第42回自然災害 学会学術講演会, I-3-4, 金沢大学 (石 川県金沢市).
避難開始における論理的判断と直感的判断 の関係性に注目した証言記録分析	共同	2023年12月7日	東北大学他	高橋佑介, 奥村与志弘, 第13回巨大津波 災害に関する合同研究集会, 東北大学災 害科学国際研究所 (宮城県仙台市).
ペットと津波避難の関係に注目した災害体 験を伝える文書の分析	共同	2023年12月7日	東北大学他	福永晴斗, 奥村与志弘, 第13回巨大津波 災害に関する合同研究集会, 東北大学災 害科学国際研究所 (宮城県仙台市).
介護サービス受給者に注目した東日本大震 災時の気仙沼市における関連死の実態把握	共同	2023年12月7日	東北大学他	八木亮介, 奥村与志弘, 第13回巨大津波 災害に関する合同研究集会, 東北大学災 害科学国際研究所 (宮城県仙台市).
(招聘講演) 災害多発時代を豊かに生きるには	単独	2023年1月28日	兵庫県淡路県民局 淡路くらしのひろば 展実行委員会	第45回淡路くらしのひろば展, 南あわじ 市湊地区公民館
連携して解決すべき茨木市の防災課題とは	単独	2023年2月10日	茨木市	茨木市防災会議・講演, 茨木市役所

研究業績

大阪府北部地震の教訓と課題	単独	2023年3月3日	高槻地区連合自治会・高槻市立城内公民館	地域減災講座, 高槻市城内公民館
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震 — 発生メカニズムと対策について —	単独	2023年3月18日	兵庫県広域防災センター	令和4年度ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県広域防災センター講堂.
南海トラフ巨大地震への備え～これまでの10年とこれからの10年～	単独	2023年3月25日	徳島大学研究クラスター「大規模自然災害からのインクルーシブ避難の実現」	防災シンポジウム「デジタルツイン時代の誰一人取り残さない防災」基調講演, オンライン
東日本大震災で起きたこと・起きていること	単独	2023年6月17日	朝日新聞社	子ども新聞プロジェクト事前授業, 朝日新聞名古屋本社
迫りくる大災害から命を守る — 南海トラフ巨大地震への備えと実践 —	単独	2023年6月19日	大阪府内地域連携プラットフォーム (大阪府・大阪市・大阪商工会議所・大学コンソーシアム大阪)	公開講座, オンライン.
南海トラフ地震に備える	単独	2023年7月1日	日本防災士会和歌山県支部	日本防災士会和歌山県支部講演会, 和歌山県立図書館メディア・アート・ホール
安全安心な未来をつくる	単独	2023年7月13日	田原市教育委員会	田原市教育委員会「防災キャンパス事業」特別授業, 田原市立清田小学校
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震 — 発生メカニズムと対策について —	単独	2023年8月27日	兵庫県中播磨県民センター	令和5年度中播磨・西播磨地域ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県姫路総合庁舎
どうする? 南海トラフ地震を控えて～これからの奈良の防災～	単独	2023年9月4日	奈良商工会議所女性会	奈良商工会議所女性会 講演, 奈良商工会議所
南海トラフ地震とは何か — その備えと対策 —	単独	2023年9月4日	(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構	ひょうご講座2023. 兵庫県民会館
企業が変わる防災のカタチ, 防災が変わる企業のカタチ	単独	2023年9月14日	関西経済連合会	関西経済連合会メンバーシップ部会 講演, 関西経済連合会会議室
南海トラフ巨大地震へのカウントダウン～次の10年, 私たちが進むべき道を探る～	単独	2023年9月19日	名古屋大学減災連携研究センター	第191回名古屋大学防災アカデミー, 名古屋大学減災館
企業と取り組む NEXT BOSAI	単独	2023年9月28日	BERC (経営倫理実践研究センター)	BERC 関西西部会・講演, 関西大学梅田キャンパス
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震～発生メカニズムと対策について～	単独	2023年11月11日	芦屋市	令和5年度芦屋市防災士養成講座, 芦屋市役所
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震 — 発生メカニズムと対策について —	単独	2023年12月3日	兵庫県広域防災センター	令和5年度ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県広域防災センター講堂.
自然災害から生き延びる術	単独	2023年12月19日	伏見の防災を考える会	令和5年度伏見連続講座, 伏見区役所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・国際共同研究 加速基金 (国際共同研究強化 (B))	分担	2020年～2023年	1,000 (3,600)	インドネシアにおける仮想津波観測実験 — 海洋レーダ津波防災活用技術の飛躍的發展
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担	2022年～2024年	700 (2,000)	相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担	2022年～2024年	300 (1,300)	多様な発生形態を有する南海トラフ地震に対応可能なライフライン防災に関する研究
日本BCP株式会社 共同研究	代表	2023年10月～2024年9月	500 (1,000)	災害時における電源確保のための燃料備蓄と災害時の燃料配送および事業継続に関する研究
国立大学法人愛媛大学・ORNIS 株式会社 共同研究	分担	2023年	1,170	海洋レーダデータを用いた津波計測・津波防災情報に関する研究

以下、フリー記入
(所属学会) 日本土木学会 日本自然災害学会 日本災害情報学会 日本地震学会 地域安全学会 AGU (アメリカ地球物理学連合)
(社会貢献活動) <u>1.学会</u> 土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文編集小委員会』幹事長 土木学会 国際部門国際センター『留学生グループ』委員 自然災害学会『ホンネで語ろう「ほうさい」イブニングカフェ』企画・運営会議 委員 地域安全学会『学術委員会』委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member <u>2.国</u> 中央防災会議防災対策実行委員会『南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ』委員 内閣府『南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会』委員 <u>3.地方自治体</u> 大阪府『大阪府防災会議』専門委員 徳島県『徳島県南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会』委員 貝塚市『貝塚市水間公園有識者懇話会』委員 貝塚市『貝塚市緑の基本計画検討委員会』委員 南あわじ市『兵庫県南あわじ市防災会議』委員 南あわじ市『福良地区円卓会議』座長 田原市『愛知県田原市防災会議』委員 田原市 教育委員会『田原校区みんな参加の防災キャンプ実行委員会』アドバイザー <u>4.その他の委員など</u> 人と防災未来センター『災害メモリアルアクション神戸 実行委員会』委員 ひょうご震災記念21世紀研究機構『南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究』研究会委員 朝日新聞名古屋本社・日本赤十字社『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー NPO 法人 大規模災害対策研究機構 理事 ORNIS 株式会社 技術顧問 (客員教員・非常勤講師) 愛媛大学 客員教授 神戸学院大学 現代社会学部 非常勤講師
(その他業績として記載を希望する事項) <u>報道・取材協力</u> R05.03.04: NHK [総合]「ニュース7『南海トラフ 震災関連死“7万人超”可能性』」19:00~19:30 (出演, 研究成果紹介). R05.03.05: NHK [総合]「NHKスペシャル 南海トラフ巨大地震 “最悪のシナリオ”にどう備えるか」21:00~21:59 (出演). R05.03.10: NHK (関西)「かんさい熱視線『徹底可視化!南海トラフ巨大地震 #とっさに逃げられる街ですか』」19:30~20:00 (生放送)スタジオ解説. R05.03.12: NHK (関西)「ニュースほっと関西 (18:00~19:00)」内のコーナー「『南海トラフ/巨大地震』『“水平避難”課題を検証』」(出演). R05.04.14: NHK「特集記事『“救えるはずの命” 災害関連死を防ぐには』」取材協力. R05.12.24: 読売新聞「南海トラフ「関連死」試算へ」「避難環境や医療復旧 対策強化」朝刊28面.

研究業績

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 日仏対訳 フランス医療機関におけるアート アートとリスク感性 堺市と関西大学の地域連携事業「ホスピタルアートのある街・堺」の記録 L'art dans les hôpitaux en France L'art et la sensibilité au risque Version bilingue français/japonais	共著	2023年3月	関西大学出版部	179p.
(分担執筆) The Friendship between Japan and France	分担執筆	2023年6月	Glénat	in Julien Gacon and Aurélie Labruyère éd., Aesthetics of Wine, July 2023, pp.205-206.
Salon, a unique Champagne	分担執筆	2023年6月	Glénat	in Julien Gacon and Aurélie Labruyère éd., Aesthetics of Wine, July 2023, pp.206-220.
(学術論文) 2021年秋 中小企業経営者の健康に関する日仏共同調査結果より	単著	2023年3月	関西大学経済・政治研究所	『セミナー年報 2022』pp.35-44. (査読なし)
中小企業経営者の仕事のストレス要因尺度の開発	共著	2023年3月	桃山学院教育大学	栗岡住子, 馬ノ段梨乃, 亀井克之, 尾久裕紀, オリビエ・トレス『桃山学院教育大学 紀要』第5号, pp.27-45. (査読有)
防災・安全関連商品マーケティングの現状と課題—危険性のあるブロック塀に代替する国産木材塀の開発現場から—	共著	2023年4月	日本リスクマネジメント学会	清永雅嗣, 亀井克之, 『危険と管理』第54号, With/After コロナのリスクマネジメント, pp.132-146. (査読なし)
コロナ禍における中小企業経営者の健康問題と事業継続リスク—バーンアウトを代理変数とした探索研究	共著	2023年8月	日本政策金融公庫	堀越昌和, 尾久裕紀, 金子信也, 亀井克之, 栗岡住子, オリビエ・トレス『日本政策金融公庫論集』第60号, pp.71-87. (査読有)
(研究ノート) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウムについて	単著	2023年8月	事業承継学会	『事業承継』Vol.12, pp.138-145.
フランスの事業承継研究者はオイカワデニムの事例をどのように捉えたのか—2022年10月31日「気仙沼とフランスをつないで」日仏公開討論会の記録—	単著	2023年8月	事業承継学会	『事業承継』Vol.12, pp.146-155.
(その他) ケイコ・クルディ監督作品上映会の思い出	単著	2023年10月	パリクラブ 日仏経済交流会	『1993-2023 30周年記念誌』p.51.
軟式野球同好会トレ・フォール創立40周年を祝う	単独	2023年5月	咲耶会(大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会)	『咲耶』No.34, p.20
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会研究報告) リスクマネジメントのフレームワーク	単独	2023年9月30日	日本リスクマネジメント学会	日本リスクマネジメント学会, 第48回全国大会・創立45周年記念大会, 午前の部 司会兼問題提起, あべのハルカス25階会議室E, 午後の部 阪南大学 あべのハルカスキャンパス
(研究報告・講演) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班の活動	単独	2023年3月29日	関西大学経済・政治研究所	顧問との懇談会, 関西大学児島惟謙館, 会議室
ワインの美学: 南仏・ギガルトとシャンパーニュ・サロン	単独	2023年9月20日	関西大学経済・政治研究所	第260回産業セミナー「ファミリービジネスの経営戦略とイノベーション」, 関西大学梅田キャンパス 8F ホール

社会安全学研究 第14巻

気仙沼とフランスをつないで——事業承継を考える——	単独	2023年12月1日	NPO 京都コミュニティ放送	VUCA時代に挑む中小企業, FM79.7 京都三条 ラジオカフェ, https://radiocafe.jp/202108002/episodes/2023-12-10a/?mode=results
(招待講演) L'art dans les hôpitaux, L'art et la sensibilité au risque	単独	2023年3月31日	Art dans la cité	「日仏対訳 フランス医療機関におけるアート アートとリスク感性 L'art dans les hôpitaux en France L'art et la sensibilité au risque」(関西大学出版部, 2023年3月) 出版記念講演会, Fondation Sasakawa, Paris.
リスクマネジメントとは	単独	2023年6月23日	特定非営利活動法人 学生文化創造	2023年度これからの大学を支える若手職員研究会, Zoomによるオンライン講演
よりよい危機管理体制の構築に向けて～リスクマネジメントの視点を活かして～	単独	2023年7月4日	兵庫県教育委員会	令和5年度県立学校管理職(教頭)研究協議会, 県立教育研究所
フランス映画に学ぶリスクマネジメント	単独	2023年7月21日	日新火災海上保険株式会社	2023年度 日新火災海上保険株式会社 TALK クラブ 日新モデルパワーアップセミナー, ストリングスホテル名古屋
リスクマネジメント	単独	2023年7月24日	日新火災海上保険株式会社	2023年度トップリーダー研修, 日新火災海上保険本社
フランス医療機関におけるアート, イリュミナル実演	単独	2023年6月10日	耳原総合病院アートセクション	耳原総合病院 会議室
イリュミナル実演	単独	2023年6月21日	特定非営利活動法人 チア・アート	筑波メディカルセンター病院
曲がり角にきた市民マラソン——大阪マラソンを事例として——	単独	2023年7月27日	子ども未来・スポーツ社会文化研究所	(コメンテーター) Zoomによるオンライン開催 https://www.fcssc2020.jp/column/file/fcssc_quarterly_magazine_09.pdf
イリュミナル実演	単独	2023年7月3日	特定非営利活動法人 コミュニナル	大阪リハビリテーション病院
フランスのデジタルアート・イリュミナル	共同	2023年7月8日	NPO 子ども健康フォーラム	令和5年度 子どもの療養環境研究会「療養環境におけるデジタルアートの可能性」, あいち小児保健医療総合センター 大会議室
ポスト・コロナ時代の関西ものづくりファミリービジネスによる事業展開とBCM(事業承継)	共同	2023年11月17日	科学研究費 基盤研究(B)「被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究」	(パネリスト) 共催 一般社団法人 ブランド戦略研究所, 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班
(総合司会・通訳) Andy Boerger, The Essential Rhetorical Devices in English Presentations, and How to Use Them	単独	2023年1月16日	PDM, Graduate School of Socioietal Safety Sciences	(司会) 2022年度第1回 PDM Seminar, 関西大学 高槻ミュージックキャンパス M905教室
Andy Boerger, Presenting about Sustainability and the Climate Crisis	単独	2023年1月16日	PDM, Graduate School of Socioietal Safety Sciences	(司会) 2022年度第2回 PDM Seminar, 関西大学 高槻ミュージックキャンパス M905教室
第3回 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム	単独	2023年3月24日	中小企業の事業承継 日仏シンポジウム実行委員会	(総合司会・通訳) 共催 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 科学研究費基盤(B) 被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究, まいど!大西塾 中小企業経営戦略研究所, 助成 笹川日仏財団, 大阪倶楽部ホール
Roy Thurik, "Strategy to Publish Articles on Academic Journals"—How I research, write and publish—	単独	2023年12月19日	PDM, Graduate School of Socioietal Safety Sciences	(司会) 2023年度第2回 PDM Seminar, 関西大学 高槻ミュージックキャンパス M706教室
黒田正宏「AREに学ぶリスクマネジメント」	単独	2023年10月10日	関西大学社会安全学部 リスクマネジメント研究室	(総合司会)「リスクマネジメント論」ゲスト講演, 関西大学高槻ミュージックキャンパス M905教室

研究業績

椎葉克弘「アートは「未来が見えないリスク」にどうこたえてくれるのか？」メント試論	単独	2023年11月26日	日本リスクマネジメント学会	(司会) 共催 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア研究班 日本リスクマネジメント学会 関東部会 アートとリスクマネジメント フォーラム, 関西大学東京センター
岸上剛, 気候変動と中小企業リスクマネジメント試論	単独	2023年11月26日	日本リスクマネジメント学会	(司会) 共催 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア研究班, 関西大学東京センター 日本リスクマネジメント学会 関東部会 アートとリスクマネジメント フォーラム
黒田正宏「AREのAREに学ぶリスクマネジメント」	単独	2023年12月18日	関西大学社会安全学部 リスクマネジメント研究室	(総合司会)「経営学概論」「リスクマネジメント論」補習 特別講演, 関西大学高槻ミュージックキャンパス M905教室
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B) 課題番号 21H00751	代表	2021～2025年度	800 (7,200)	被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究
文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題/領域番号 22K11135	分担	2022～2024年度	100 (4,160)	中小企業経営者におけるストレス予防教育プログラムの開発 研究代表者 栗岡住子
文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題/領域番号 23K01599	分担	2023～2025年度	3,250 (4,550)	中小企業における女性後継者の承継後パフォーマンスの決定要因に関する研究
堺市と関西大学との地域連携事業	代表	2021～2023年度	530 (1,260)	堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業承継
笹川日仏財団・研究助成	代表	2022年10月～ 2023年3月	1,000	「中小企業・ファミリー企業の事業承継日仏シンポジウム」
関西大学出版部, 出版助成	代表	2023年度		『日仏対訳 フランス医療機関におけるアート L'art dans les hôpitaux en France L'art et la sensibilité au risque Version bilingue Français/japonais』出版
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスクマネジメント学会 理事長 (2023年6月～)				
ファミリービジネス学会 理事				
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事				
日仏経営学会				
日本経営学会				
日本商品学会				
日本中小企業学会				
日本保険学会				
事業承継学会				
PL 研究会				
(社会貢献活動)				
特定非営利活動法人コミュニアル 理事				
大阪家庭裁判所委員会, 委員				
経営学関連学会連絡協議会 評議員				
日本経済学会連合 委員				
フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長				
株式会社 アドバンスクリエイト 顧問 (～2023年12月17日)				
合同会社ユーエスジェー (USJ) 企業リスクマネジメント・コミッティー, アドバイザー (～2023年3月)				
全国通訳案内士 フランス語 関西広域連合登録 第FR00099号 1996年6月28日				
全国通訳案内士 英語 関西広域連合登録 第EN01034号 2017年12月28日				

(その他)

放送大学 大学院文化科学研究科文化科学専攻 後期博士課程生活健康科学プログラム 博士学位論文 副査 (主査 奈良由美子), 2023年1月13日 古川彰洋「海外教育旅行リスクマネジメントにおける配慮的リスクの重要性」
 2023年度下半期 笹川日仏財団 助成「中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム」招へい研究者 ソニア・ブサゲ (フランス ランス Neoma ビジネススクール教授) 受け入れ責任者 2023年3月19日～3月27日
 大阪医科大学 看護学部 非常勤講師 「くらしと安全・危機管理」担当
 関西大学 経済・政治研究所 「関西ファミリービジネスのBCMと東アジア研究班」主幹 (2021年4月1日～2025年3月31日)
 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問
 関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問 (～2023年3月)
 関西6大学 準硬式野球連盟 会長 (～2023年3月)
 関西大学 社会安全学部 学生団体 軟式野球サークル 顧問

(報道)

(ラジオ・動画) 2023年04月20日 28分
 「中小企業・ファミリー企業の事業承継 (第一部) ～シャンパーニュ地方の中心都市ランスから専門家2人を招いて～」
 『VUCA時代に挑む中小企業』京都三条ラジオカフェ, 司会 森原英壽 (まいど!大西塾～中小企業経営戦略研究会～), コーディネーター・通訳 亀井克之, ゲスト ソニア・ブサゲ Sonia Boussagnet フランソワ・ドルオ François Drouot, 動画 <https://radiocafe.jp/202108002/episodes/2023-4-6oa/>
 (ラジオ・動画) 2023年05月18日 28分
 中小企業・ファミリー企業の事業承継 (第二部)
 ～フランスのファミリー企業における娘 娘婿への事業承継の事例～
 『VUCA時代に挑む中小企業』京都三条ラジオカフェ, 司会 森原英壽 (まいど!大西塾～中小企業経営戦略研究会～), コーディネーター・通訳 亀井克之, ジェラルディーン・ヴァレロ Géraldine Valero オーギュスタン・ヴァレロ Augustin Valero, 動画 <https://radiocafe.jp/202108002/episodes/2023-5-4oa/>
 (ラジオ)「亀井ゼミ 被災地フィールドワーク」『Hit & Hit!』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2023年11月6日
 (ラジオ)「亀井ゼミ キャンパス祭におけるリスクマネジメント展示」『Hit & Hit!』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2023年11月13日
 (ラジオ)「亀井ゼミ スポーツとリスクマネジメント」『Hit & Hit!』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2023年11月20日
 (ラジオ)「亀井ゼミ 訪問・インタビューを通じた体験学習」『Hit & Hit!』あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2023年11月27日
 (記事)「日本リスクマネジメント学会 SRM学会 22年度合同関東部会」初の「学会フォーラム」開催 保険毎日新聞, 2023年1月25日, 6面
 (記事)「迷惑動画疑い3人逮捕」「名古屋のすし店しょうゆ差しなめる」「識者「相次ぎ被害届, 妥当」」岐阜新聞, 2023年3月9日, 25面
 (記事)「迷惑動画投稿で逮捕」「名古屋のくら寿司 しょうゆ差しなめたか」「識者「適切な危機管理」」四国新聞, 2023年3月9日, 18面
 (記事)「回転ずし迷惑動画3人逮捕」「被害届提出は「適切」」「企業の厳格対応, 識者評価」佐賀新聞, 2023年3月9日, 25面
 (記事)「「悪ふざけ」では済みません! 専用鍵で電車の乗務員室侵入 大事故つながる恐れ」毎日新聞, 2023年5月12日, 朝刊 愛知版 16面
 (記事)「マックのある店舗が地元中学の全生徒を「出入り禁止」に その理由は」朝日新聞 DIGITAL, 2023年7月22日
 (記事)「日本リスクマネジメント学会 関西部会開催 鉄道のリスクマネジメント報告」新理事長に亀井克之氏選出 保険毎日新聞, 2023年8月22日, 4面
 (記事)「学会機関誌に事例掲載」本吉 オイカワデニムの事業承継 三陸新報, 2023年9月6日, 7面
 (記事)「ジャニーズ起用「見直す」で終わりではない 問われる企業の姿勢とは」朝日新聞 DIGITAL, 2023年9月15日
 (記事)「猛虎熱気」「岡田監督采配に見るマネジメント, 方針明確, 適正な人材配置 関西大学教授 亀井克之氏」日本経済新聞, 2023年9月16日, 朝刊40面
 (記事)「ジャニーズ, 補償後に廃業」新会社に知財移管へ ガバナンスなお不透明 日本経済新聞, 2023年10月3日, 朝刊2面
 (記事)「虎のソナタ」「サンスポデスク 教授, 学生の熱意にタジタジ 黒田正宏氏と関大講義のゲストに」サンケイスポーツ, 2023年10月16日, 3面
 (記事)「日本シリーズ識者の視点 名将対決プレーバック」神戸新聞, 2023年11月16日, 夕刊 1面
 (記事)「2023年10月エマージング・リスクの国際規格『ISO31050』発行」「エマージング・リスクにどう備える」「1組織だけでなく, 社会としての対応が必要」日本リスクマネジメント学会会員に聞く, リスク対策, com, 2023年12月4日
 (作成協力) イベントレポート 連続講座 第5回「フランスのヘルスケア分野のデジタルアート」開催, なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト WEBサイト 2023年01月15日 (日) <https://healthcare-art.net/news/event/entry-266.html>
 (動画制作・公開) Raphaël Vialle, Immersive Therapies in Hospital (病院における没入型のセラピー), なごやヘルスケアアート推進プロジェクト連続講座 2022年11月18日実施, 30分 <https://youtu.be/haOFIUvAz94?si=9CiU9z9SqcV3CEiJ>
 (動画制作・公開) Rachel Even, Evaluation de l'illuminart (病院における没入型のセラピー), なごやヘルスケアアート推進プロジェクト連続講座 2022年11月18日実施, 21分 <https://youtu.be/RgAixLsjqFo>

研究業績

- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (1) : 冒頭フランス語プチ講座～自己紹介・冒頭亀井教授によるプチ・フランス語講座, 日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 11分 <https://youtu.be/4N6aM4sWWNM>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (2) 「オイカワデニムの創業について」日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 7分 <https://youtu.be/LZKDFtuVKVY>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (3) 「最初の危機」日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 9分 <https://youtu.be/ShDScNyI9ZM>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (4) 「第二の危機 グローバル化～独自ブランド「スタジオ・ゼロ」確立」, 日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 12分 <https://youtu.be/FIRwrvebu98>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (5) 「第三の危機 東日本大震災」日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 21分 <https://youtu.be/5EP9y-QrOdU>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (6) 「オイカワデニムにおける事業承継について 母から息子へ」日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 25分 <https://youtu.be/edc6Hvorpgg>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (7) 「及川秀子 エッセー 朗読」日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 15分 <https://youtu.be/VmB6IvI054o>
- (動画制作・公開) 気仙沼とフランスをつないで (8) 「質疑応答 気仙沼の銀行の方の質問」「奇跡のジーンズを拾い上げた鈴木さんのお話」日仏公開討論会 (対談者 及川秀子 ベランジェール・デシャン, 通訳 亀井克之), 気仙沼ワントン庁舎ホール, 2022年10月31日実施, 13分 <https://youtu.be/LNec3SRGqzg>
- (動画制作・公開) 第2回 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム (1) : 亀井克之 開会の辞 Katsuyuki Kamei, Mot d'ouverture 1分, Bérange Deschamps, Recherche Francophone sur le Repreneuriat, ベランジェール・デシャン フランス語圏における事業承継研究 (フランス語のみ・日仏対訳パワーポイント表示), 東京 日仏会館ホール, 2022年11月3日実施, 20分 <https://youtu.be/RHerOqtnxB0>
- (動画制作・公開) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム (2) : Audrey Missonier, Transmission et Reprise des entreprises et les femmes オードリー・ミソニエ 事業承継と女性 (フランス語のみ・日仏対訳パワーポイント表示), 東京 日仏会館ホール, 2022年11月3日実施, 14分 <https://youtu.be/q7u053FapNI>
- (動画制作・公開) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム (3) : 村上義昭「日本の状況基調報告」Yoshiaki Murakami, Situation japonaise (日仏対訳パワーポイント表示) 東京 日仏会館ホール, 2022年11月3日実施, 14分 <https://youtu.be/ml46hbvMTQc>
- (動画制作・公開) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム (4) : 津島晃一「最近の日本の事業承継経営現場で感じる変化」Transmission et reprise des entreprises au Japon: évolutions récentes (日仏対訳パワーポイント表示) 東京 日仏会館ホール, 2022年11月3日実施, 9分 <https://youtu.be/IzIEVyWQaUs>
- (動画制作・公開) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム (5) ソニア・ブサゲ「後継者と健康」Sonia Boussaguet, Santé des repreneurs (フランス語のみ・パワーポイントなし) 東京 日仏会館ホール, 2022年11月3日実施, 3分, <https://youtu.be/6y3WZCmBku8>
- (動画制作・公開) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム (6) 「質疑応答」Question-réponse, 東京 日仏会館ホール, 2022年11月3日実施, 7分, <https://youtu.be/yp8nvmCU1IM>
- (動画制作・公開) 第3回 中小企業・ファミリー企業の事業承継日仏シンポジウム
3e Symposium Franco-Japonais sur la Transmission et la Reprise des PME
事業承継の中心にある「人」に注目して研究者と実務家双方の視点から, 通訳 亀井克之, 大阪倶楽部ホール, 2023年3月24日実施, 動画撮影・編集協力 酒井慎一, 1時間11分, https://www.youtube.com/watch?v=lYoydFARH_c

■ 川 口 寿 裕

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 鉄道車両内における吊り革およびポール配置の検討	共同・単独	2023年12月2日	交通流数理研究会	第29回交通流と自己駆動粒子系のシンポジウム (Zoom オンライン)
(招待講演) 梨泰院事故からあらためて学ぶ雑踏の危機管理	単独	2023年2月16日	兵庫県警察	兵庫県警察学校講義 (兵庫県芦屋市 兵庫県警察学校)
韓国・梨泰院事故から学ぶ群集事故の要因と対策	単独	2023年2月27日	土木学会	関西ライフライン研究会 第137回定例研究会 (大阪府大阪市 AP 大阪茶屋町)
群集事故について知っておこう～韓国・梨泰院事故から学ぶ	単独	2023年6月9日	防犯防災総合展事務局	防犯防災総合展2023 (大阪府大阪市 インテックス大阪)
群集事故および雑踏警備に関する暗黙知	単独	2023年6月21日	暗黙知研究会	第3回暗黙知研究会 (大阪府高槻市 関西大学高槻ミュージックキャンパス)
過去の事例からひも解く群集事故の危険性	単独	2023年7月28日	仙台青年会議所	仙台市七夕花火祭特別委員会 (宮城県仙台市 トークネットホール仙台)
鉄道施設内の歩きスマホの危険性	単独	2023年8月9日	兵庫県鉄道警察隊	兵庫県鉄道警察隊セミナー (兵庫県神戸市 鉄道警察隊内)
高密度群集挙動の数値シミュレーション	単独	2023年9月19日	ホソカワ粉体工学振興財団	第28回ホソカワ粉体工学シンポジウム (大阪府吹田市 大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館)
群集事故の要因と対策～韓国・梨泰院事故から学ぶ	単独	2023年10月1日	日本旅行医学会	第2回関西セミナー (Zoom オンライン)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 建築学会				
(社会貢献活動) 兵庫県警察雑踏警備アドバイザー				

研究業績

■ 越山健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 復興期における住民自治	分担執筆	2023年9月	朝倉書店	災害復興学事典、災害復興学会編、第3章3-2担当
(学術論文) 水災害リスク低減に向けた居住移転誘導事業に関する費用便益分析—神戸市におけるケーススタディ—	共著	2023年8月	日本都市計画学会	山本真規子、都市計画報告集No.22、360-363
大阪府吹田市における不発弾処理対応における市職員の業務分析	共著	2023年11月	地域安全学会	有吉恭子・柴野将行、地域安全学会論文集(43)、157-165、(査読有り)
施設の一時的利用を伴う市民対応業務に関する空間機能研究—新型コロナワクチン集団接種事例—	共著	2023年11月	地域安全学会	柴野将行・有吉恭子、地域安全学会論文集(43)、105-114、(査読有り)
津波避難タワーが居住住民の意識に及ぼす影響	共著	2023年11月	地域安全学会	村上龍之介・楊東昇、地域安全学会梗概集No.53、69-72
避難所空間における規範の整理—建築地理学をもとに—	共著	2023年11月	地域安全学会	有吉恭子・柴野将行、地域安全学会梗概集No.53、155-158
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 関東大震災の都市復興計画を再考する	単独	2023年5月27日	地域安全学会	地域安全学会春季大会特別セッション(神奈川)
Analysis of the Transformation of the Residential Environment in the Long-term recovery	単独	2023年6月4日	i-rec	i-Rec international conference and workshop in Japan (Miyagi)
災害対策本部運営における防災情報システムの活用実態	共同	2023年10月26日	災害情報学会	日本災害情報学会第27回学会大会(福島)
集団火災発生後の土地所有変化の分析	単独	2023年11月23日	日本地震工学会	2023年日本地震工学シンポジウム(横浜)
(招待講演) これまでの防災 これからの防災 広域避難と生活再建	単独 単独	2023年3月19日 2023年5月26日	高槻市 人と防災未来センター	高槻市防災シンポジウム、大阪府 災害対策専門演習エキスパートB、兵庫県
火災と防災計画の深い関係 広域避難と生活再建	単独 単独	2023年8月21日 2023年11月20日	地域安全学会 人と防災未来センター	地域安全学 夏の学校2023、石川県 災害対策専門演習エキスパートB、兵庫県
巨大災害におけるくらしの再建	単独	2023年11月27日	ひょうご震災記念21世紀研究機構	ひょうご講座2023 防災・復興「次なる巨大災害に備える」
災害復興における公的住宅供給方策の類型	単独	2023年12月3日	四川外国語大学	中日学生交流
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費・基盤研究A	代表	2023-2026	4940(47400)	「復興の総合知」を用いた災害復興社会のシミュレーションと最適戦略策定手法の提案
文部科学省科学研究費・基盤研究A	分担	2021-2025	405(1500)	福島復興10年間の検証と長期的な課題の抽出に向けた学際的な研究
住総研・研究実践助成	代表	2021-2023	800(1050)	災害復興公営住宅団地の長期的活用と変化に関する分析
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本建築学会 都市計画委員会 小委員会幹事 日本建築学会 学会誌編集委員会 幹事 日本都市計画学会 防災復興特別委員会 地域安全学会 理事				

日本災害情報学会 編集委員会

日本火災学会

日本災害復興学会

都市住宅学会

日本危機管理防災学会

(社会貢献活動)

京都大学公共政策大学院「危機管理論」非常勤講師

ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 上級研究員

福島県 東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員

(その他業績として記載を希望する事項)

大阪府都市計画審議会 委員

高槻市総合計画審議会委員

高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員

京都府戦略的地震防災対策推進部会委員

吹田市総合計画審議会 委員

吹田市防災会議 委員

吹田市環境評価委員審査会 委員

研究業績

■ 小山倫史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 大正関東大震災時のリスク評価から見る現状の自然災害リスク～自然災害リスク指標GNSによる検討～	分担	2023年8月	地盤工学会	安國恭平, 伊藤和也, 大里重人, 平岡伸隆, 小山倫史, 菊本統. 地盤工学会災害調査論文報告集, 2023; 1(2): 317-331.
防災事業における外部変数に関する基礎的考察— 福井市高須集落における避難計画策定プロジェクトを例に —	共著	2023年12月	地区防災計画学会	近藤誠司, 小山倫史, 森本将吾, 地区防災計画学会誌 (C+Bousai), 2023; 28 (印刷中)
(その他, 論考・研究資料等) 豪雨時の土砂災害に対する早期警戒・避難に繋げる方策— 福井市高須町における参加型斜面計測・モニタリングシステムおよび局所雨量観測による土砂災害発生危険度の評価	単著	2023年6月	消防防災科学センター	特集: 土砂災害と防災・減災 (その2), 消防防災の科学, 2023, No.152, pp.21-29.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 切羽評価の記事情報を用いたテキストマイニングによる定量化の試み	共同	2023年1月11日	土木学会	北岡貴文, 陳光賢, 宮永隼太郎, 坂井一雄, 小山倫史. 第49回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, 2023, pp.145-149 (査読有り)
タンクモデルのパラメータ同定を目的とした斜面内雨水浸透挙動の考察	共同	2023年1月12日	土木学会	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤本将光, 山口弘誠, 岸田潔. 第49回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, 2023, pp.48-52 (査読有り)
土砂災害警戒情報上における斜面安全率の可視化— 国道27号線舞鶴市真倉の崩壊事例を対象として	共同	2023年1月12日	土木学会	福岡知弥, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤原照幸, 岸田潔. 第49回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, 2023, pp.42-47 (査読有り)
山間集落における避難計画策定の試み— 福井市高須集落の実践から「防災」の位置づけを再検討する—	共著	2023年3月4日	地区防災計画学会	近藤誠司, 小山倫史, 地区防災計画学会第9回大会予稿集, 地区防災計画学会誌 (C+Bousai), 2023; 26: 23-24
Analysis of deformation factors and evaluation of soundness for stone walls in Kanazawa Castle by Self-Organizing Maps (SOM)	共同	2023年4月16日	地盤工学会	Koyama, T., Yamanaka, M., Kitano, H. Proc. of ATC19 International Workshop on Geotechnical Engineering for Cultural Heritage 2023 (Geo-SAKURA 2023), 2023, paper ID: 1-3, pp.1-6.
常時微動計測による金沢城郭郭石垣の地盤振動特性の把握	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	小山倫史, 原幸平, 山中稔. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: DS-5-04
自己組織化マップによる金沢城郭郭石垣の変状要因の分析	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	宮川玲緒, 小山倫史, 山中稔, 北野博司, 西田郁乃, 富田和気夫. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: DS-5-03.
京都府京丹波町における現地局所雨量データに基づく土砂災害発生危険度の評価	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	黒田さくら, 小山倫史, 近藤誠二, 西村公貴. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 13-7-4-02.
豪雨時における住民の早期避難行動を支援するプッシュ型情報発信アプリの開発およびその利活用に関する検討— 兵庫県神河町における防災訓練の事例	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	田中香蓮, 小山倫史, 如南友博. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 13-7-4-04.
福井市高須町における現地局所雨量データに基づく土砂災害発生危険度の評価— 「2021年7月29日の大雨」と「2022年8月4日から5日の大雨」の比較—	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	浅井奏音, 小山倫史, 近藤誠司, 山田忠幸. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 13-7-4-05.
One Class Support Vector Machineを用いた事前通行規制基準の設定例とその課題	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	宮崎祐輔, 青木宏史, 小山倫史, 藤原照幸, 岸田潔. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 13-7-1-05.

浸透流・円弧滑り統合解析における安全率の推移と土壌雨量指数におけるタンク貯留高の応答関係：国道27号線舞鶴市真倉の崩壊事例を対象として	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	福岡知弥, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤原照幸, 岸田潔. 第58地盤工学会研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 11-7-5-06.
GNSを用いた関東大震災時の災害リスク評価と実被害の比較	共同	2023年7月11～13日	地盤工学会	安國恭平, 伊藤和也, 大里重人, 平岡伸隆, 小山倫史, 菊本統. 第58地盤工学会研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 12-8-1-08
Chat GPT 利用による切羽評価の記事情報を用いたテキストマイニングによる定量化	共同	2023年9月14～15日	土木学会	北岡貴文, 鏡堂隼平, 宮永隼太郎, 坂井一雄, 小山倫史. 土木学会第78回年次学術講演会講演概要集, 2023, Paper ID: CS2-01
自然災害安全性指標 GNS を用いた茨城県の災害リスクの変化	共同	2023年9月14～15日	土木学会	安國恭平, 伊藤和也, 大里重人, 平岡伸隆, 小山倫史, 菊本統. 土木学会第78回年次学術講演会講演概要集, 2023, Paper ID: IV-45.
国道の事前通行規制基準の設定における One Class Support Vector Machine の適用性	共同	2023年9月28日	土木学会	宮崎祐輔, 青木宏史, 小山倫史, 藤原照幸, 岸田潔. 第48回土木情報学シンポジウム, Paper ID: 1260 (査読有り)
現地局所雨量観測に基づく局地的大雨における土砂災害発生危険度評価——福井市高須町における「2021年7月29日の大雨」と「2022年8月4日から5日の大雨」の比較——	共同	2023年11月3日	地盤工学会関西支部	浅井奏音, 小山倫史, 近藤誠司, 山田忠幸. Kansai Geo-Symposium 2023——地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム——論文集, pp.39-44 (査読有り)
斜面内体積含水率の推定結果に対するタンクモデル構造の影響についての考察	共同	2023年11月3日	地盤工学会関西支部	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤原照幸, 藤本将光, 岸田潔. Kansai Geo-Symposium 2023——地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム——論文集, pp.45-50 (査読有り)
(招待講演) 局地的大雨(ゲリラ豪雨)による土砂災害に対する備え方——「避難スイッチ」, 「マイトタイムライン」と非常時の「非常プラン」	単独	2023年7月7日	震災対策技術展	第10回「震災対策技術展」大阪, マイドーム大阪, 大阪市.
土砂災害に備える——地域防災の最前線——	単独	2023年9月1日	大阪市, アジア太平洋トレードセンター株式会社, 日経新聞社	おおさかATCグリーンエコプラザビジネス交流会, 水・土壌汚染研究会セミナー(第117回), おおさかATCグリーンエコプラザ, 大阪市
土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用	単独	2023年10月1日	兵庫県	令和5年度ひょうご防災リーダー養成講座, 兵庫県広域防災センター, 兵庫県三木市.
土砂災害に対する早期警戒・避難のための防災気象情報の活用法	単独	2023年11月11日	芦屋市	令和5年度芦屋市防災士養成講座, 芦屋市役所, 兵庫県芦屋市
土砂災害に対する早期警戒・避難——地域防災の最前線——	単独	2023年12月7日	大阪府	令和5年度次世代道路技術者育成研修講演会, NSビル, 9Fホール, 大阪市
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2023年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	研究分担者	2023～2026年	300 (5590)	不飽和地盤の微生物固着プロセスシミュレータの開発：遺構の基礎修復の理想像に向けて(代表:橋本涼太, 京都大学)
国土技術政策総合研究所, 令和5年度道路政策の質の向上に資する技術研究開発	研究分担者	2023～2026年	286 (21879)	事前通行規制基準の『時間的』・『空間的』適正化に関する技術研究開発(代表:岸田潔, 京都大学)
以下, フリー記入				
(所属学会) 土木学会 地盤工学会 資源・素材学会 岩の力学連合会 地下水学会				

研究業績

<p>地すべり学会 計算工学会 地域安全学会 文化財保存科学会</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>土木学会, 岩盤力学委員会 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会, 委員長 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤力学改訂版編集小委員会, 委員 土木学会, 土木学会論文集F2分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会, 委員 土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員 国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員 地盤工学会, 会誌編集委員会, 副委員長 地盤工学会関西支部, 斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会, 利活用・教育部会(部会3) 部長 International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member 岩の力学連合会, RockNet 委員会, 委員 岩の力学連合会, JSRM 賞選考委員会, 委員 日本原子力学会, 「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会, 委員 国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター 国土交通省近畿地方整備局, トンネルアドバイザー 国土交通省近畿地方整備局, 技術スペシャリスト会議 トンネル技術研究会, 委員 大阪府, 道路防災対策等に関する技術検討会, 委員 奈良県, 国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会, 委員 猪名川町教育委員会, 猪名川町多田銀銅山遺跡保存活用委員会, 委員 西日本高速道路株式会社, 関西支社技術アドバイザー 阪神高速先進技術研究所, 土工構造物検討委員会, 委員 阪神高速先進技術研究所, 土木構造物点検診断技術者資格認定委員会, 委員 西日本旅客鉄道(株), コンクリート構造物の維持管理技術に関する検討委員会, トンネル分科会, 委員 原子力発電環境整備機構 (NUMO), 技術アドバイザー委員会, 委員 日本原子力研究開発機構 (JAEA), 地層処分施設閉鎖技術確認試験委員会, 委員 日本原子力研究開発機構 (JAEA), ニアフィールド長期環境変遷評価技術開発委員会, 委員</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>第63回地盤工学シンポジウム優秀論文賞, 受賞, 演題名: 局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期避難に向けた利活用に関する検討 ―福井市高須町における平成30年7月豪雨と令和3年7月29日の大雨の比較― (2023年4月) 令和4年度地盤工学会関西支部賞, 社会貢献奨励賞, 受賞, 福井市高須町における局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期警戒・避難に向けた利活用に関する検討 (2023年4月) 令和4年度地盤工学会関西支部賞, 技術賞, 受賞, 受賞業績名: 土壌雨量指数を用いた国道における新たな異常気象時事前通行規制の提案および検証 (2023年4月) 令和4年度地盤工学会賞, 論文賞 (和文部門), 受賞, 受賞業績名: トンネル施工時の湧水量の予測手法の拡張と実トンネルへの適用 (2023年6月) 【記事掲載】「理想プラント非常プラン」, 産経新聞, 2023年1月16日, 夕刊 3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「防災に新たな技術開発を」, 産経新聞, 2023年4月10日, 夕刊 3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「線状降水帯情報はすでに非常時」, 産経新聞, 2023年8月21日, 夕刊 3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「多くの伝達方法 持っておこう」, 産経新聞, 2023年12月18日, 夕刊 2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【テレビ番組】「奈良 下北山村 土砂崩れ 捜索再開は26日以降の見通し」, NHK, 2023年12月25日18時41分ネット配信 【記事掲載】「100年単位の風化の結果」凍結融解で岩盤が突然崩落, 悲劇はどこでも, 産経新聞, 2023年12月30日, 19時49分ネット配信</p>

■ 近藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 災害復興学事典	共著	2023年9月	朝倉書店	「復興報道」, pp.200-201 「リスボン地震」, pp.244-245.
コロナ禍と社会情報 インフォデミックの 考現学	単著	2023年12月	関西大学出版部	全225頁
(学術論文) 民生委員の災害対応活動における課題に関 する基礎的考察——兵庫県尼崎市における アンケート結果から——	単著		自然災害学会	自然災害科学, JSNDS, 42-2, pp.113 -125. (査読あり)
防災事業における外部変数に関する基礎的 考察——福井市高須集落における避難計画 策定プロジェクトを例に——	共著		地区防災計画学会	近藤誠司・小山倫史・森本将吾, 地区防 災計画学会誌第28号, 2023年12月号, in printing. (査読あり)
現地局所雨量観測に基づく局地的大雨にお ける土砂災害発生危険度評価——福井市高 須町における「2021年7月29日の大雨」と 「2022年8月4日から5日の大雨」の比較 ——	共著		地盤工学会	浅井奏音, 小山倫史, 近藤誠司, 山田忠 幸, Kansai Geo-Symposium 2023——地 下水地盤環境・防災・計測技術に関する シンポジウム——論文集, pp.39-44. (査 読有り)
福井市高須町における局所雨量観測データ を用いた土砂災害発生危険度評価 および その住民の早期避難に向けた利活用に関す る検討	共著		地盤工学会	小山倫史, 近藤誠司, 山田忠幸, 地盤工 学ジャーナル, 19(1), 2024 (原稿受理, 印刷中) (査読有り)
(その他, 論考・研究資料等) 今こそ災害情報の真価を問い直そう リアリティの観点から再考する	単著	2023年9月	電波技術協会	電波技術協会報 FORN——2023.9 No.354, pp.22-25.
京丹波町自主放送アンケート (令和4年度 実施)——調査結果報告書——	単著	2023年3月	京丹波町	ウェブ公開, 全32頁
内在と外在を往還する	単著	2023年10月	日本災害情報学会	日本災害情報学会ニューズレターNo.95 (地動儀)
百世安堵「明るい無常感」	単著	2023年1月	稲むらの火の館	やかただより No.147
百世安堵「防災対策の充実度を読む」	単著	2023年2月	稲むらの火の館	やかただより No.148
百世安堵「“おひとりさま”の陥穽」	単著	2023年3月	稲むらの火の館	やかただより No.149
百世安堵「リスボン地震の教え」	単著	2023年4月	稲むらの火の館	やかただより No.150
百世安堵「互換可能性を開く」	単著	2023年5月	稲むらの火の館	やかただより No.151
百世安堵「計画の内在的制約」	単著	2023年6月	稲むらの火の館	やかただより No.152
百世安堵「こころの固有周期」	単著	2023年7月	稲むらの火の館	やかただより No.153
百世安堵「防災ビोटープ論」	単著	2023年8月	稲むらの火の館	やかただより No.154
百世安堵「平本歩さんが遺したもの」	単著	2023年9月	稲むらの火の館	やかただより No.155
百世安堵「現在のギュネスの指輪」	単著	2023年10月	稲むらの火の館	やかただより No.156
百世安堵「commonsとしての災害情報」	単著	2023年11月	稲むらの火の館	やかただより No.157
百世安堵「PDCA&S」	単著	2023年12月	稲むらの火の館	やかただより No.158
広報京丹波「安心はっとだより」	単著	2023年	京丹波町	広報京丹波No.207, 209, 211, 213, 215, 217
大阪府下「子ども食堂」などの子ども支援 サービスのニーズ調査	共著	2023年11月	ウェブ公開	廣川空美・菊池美奈子・大井美紀・馬場 幸子・植田紀美子・元吉忠寛・近藤誠司, 全24頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 山間集落における避難計画策定の試み ——福井市高須集落の実践から「防災」の 位置づけを再検討する——	共同		地区防災計画学会	近藤誠司・小山倫史, 地区防災計画学会 誌第26号, pp.23-24. (オンライン)

研 究 業 績

京都府京丹波町における現地局所雨量データに基づく土砂災害発生危険度の評価	共同		地盤工学会	黒田さくら, 小山倫史, 近藤誠二, 西村公貴. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 13-7-4-02. (査読なし)
福井市高須町における現地局所雨量データに基づく土砂災害発生危険度の評価 — 「2021年7月29日の大雨」と「2022年8月4日から5日の大雨」の比較 —	共同		地盤工学会	浅井奏音, 小山倫史, 近藤誠司, 山田忠幸. 第58地盤工学研究発表会講演概要集, 2023, paper ID: 13-7-4-05. (査読なし)
連報1 (災害観に関する研究) 福島県須賀川市ダム災害「奇跡のアジサイ」が表象していること	共同	2023年12月3日	日本災害復興学会	近藤誠司・岩本乃蒼, 日本災害復興学会2023年度静岡大会予稿集, pp.11-12. 於・常葉大学
連報2 (災害観に関する研究) 長野県千曲川水害の被災経験者を対象とした「防災・復興曲線」調査	共同	2023年12月3日	日本災害復興学会	岩本乃蒼・近藤誠司, 日本災害復興学会2023年度静岡大会予稿集, pp.13-14. 於・常葉大学
(講演)				
防災教育の輪を広げる～学び合い, 学び愛～	単独	2023年1月10日	高槻市第八中学校区運営協議会	八中校区教職員研修, 於・第八中学校視聴覚室
避難の計画づくり, 進めましょう (復習)	共同	2023年2月12日	福井市高須町	於・福井市高須町集落センター
地区防災計画と地域防災の実践活動	単独	2023年2月19日	兵庫県	令和4年度 ひょうご防災リーダー養成講座, 於・兵庫県広域防災センター
みんなのぼうさい～プロジェクト報告～	共同	2023年2月20日	京丹波町	京丹波町・関西大学社会安全学部 活動報告会, 於・京丹波町役場
みんなのぼうさい～知恵と工夫を集めるコツ～	単独	2023年2月21日	京都府立木津高校	於・京都府立木津高校
計画の意義	単独	2023年3月3日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市介護保険事業者協議会防災研修会, 於・高槻市役所
山間集落における避難計画策定の試み — 「防災」の位置づけを再検討する —	単独	2023年3月4日	地区防災計画学会	地区防災計画学会シンポジウム, オンライン
1.17 Treasure & Future～防災の未来をKOBEから～	共同	2023年3月26日	神戸市危機管理課	1.17 Treasure & Future～防災の未来をKOBEから～ (公開座談会), オンライン
みんなのぼうさい～我が事に, 我々事に～ 住民への効果的な情報発信について考える	単独	2023年4月28日	大阪府立北野高校	於・大阪府立北野高校
災害情報を活かすためにリアリティの水準から再考する	共同	2023年5月17日	NHK大阪放送局	於・NHK大阪放送局
	単独	2023年5月20日	総合危機管理学会	総合危機管理学会第7回学術集会, 危機管理による多様性と持続可能性 命を守る視点から危機管理を考える — 知の共有とCrisis Management —, 慶応義塾大学日吉キャンパス
防災教育の輪を広げよう～学び合い, 学び愛～	単独	2023年5月30日	徳島県	令和5年度 学校防災研修会, 於・徳島県藍住町総合文化ホール
地区防災計画はみんなのもの	単独	2023年6月3日	大阪市淀川区役所	大阪市淀川区 地区防災計画改定プロジェクト (1期) 報告会, 於・淀川区役所5階会議室
みんなのぼうさい 猪名川町の暮らしを守る知恵と工夫	単独	2023年6月11日	兵庫県猪名川町	防災・減災に強い地域づくりを進めるための講演会, 猪名川町中央公民館2階視聴覚ホール
情報とリアリティ	単独	2023年6月16日	EJアカデミー	EJアカデミー2023「命を守るための災害情報学」, オンライン
これからの地域防災力を考える～みんなが, みんなで～	単独	2023年6月17日	園田地区連携会議そのだ会	於・尼崎看護専門学校 大講堂
リアリティとオーナーシップ	単独	2023年6月23日	EJアカデミー	EJアカデミー2023「命を守るための災害情報学」, オンライン
みんなのぼうさい～広げよう「インクルーシブ防災」の輪～	共同	2023年6月23日	島本町社会福祉協議会	島本町社会福祉協議会令和5年度地区福祉委員研修会, 島本町ふれあいセンター・ケリヤホール
みんなのぼうさい 笑顔と元気を「防災力」に!	単独	2023年6月24日	日吉台コミュニティ防災福祉連絡会	日吉台コミュニティ防災福祉連絡会, 於・日吉台しんわ会館
つなげる・広げる・確かめ合う～防災教育の学び合い～	単独	2023年6月28日	高槻市立磐手小学校	令和5年度高槻第八中学校区小中合同授業研究会, 高槻市立磐手小学校

社会安全学研究 第14巻

防災実践とアーティファクト	単独	2023年6月30日	EJアカデミー	EJアカデミー2023「命を守るための災害情報学」, オンライン
防災プロジェクト2023 アイデアの芽	共同	2023年7月4日	京丹波町立蒲生野中学校	於・京丹波町立蒲生野中学校(被服室)
災害情報の活用術 防災力・福祉力・情報力	単独	2023年7月7日	「震災対策技術展」事務局	第10回「震災対策技術展」in 大阪, マイドームおおさか3階D会場
みんなが主役 地域のハッピー防災	単独	2023年7月29日	京丹波町社会福祉協議会	令和5年度京丹波町災害ボラセン町民講座, 於・京丹波町役場
地区防災計画と地域防災の実践活動	単独	2023年7月30日	兵庫県	令和5年度 中播磨・西播磨ひょうご防災リーダー講座(基礎コース), 兵庫県姫路総合庁舎 職員福利センター3階大会議室
フィールドワークに出かけよう	共同	2023年8月26日	関西大学社会安全学部	関西大学サマーキャンパス, オンライン(福井市高須町からライブ放送)
危機管理下の情報共有策	単独	2023年8月8日	全国市町村国際文化研修所	令和5年度 管理職のためのクライシス・コミュニケーション～危機に直面したときの適切な情報発信～, 於・全国市町村国際文化研修所
災害情報を活用するために～みんなが, みんなで～	単独	2023年8月22日	日本木造住宅耐震補強事業者協同組合	日本木造住宅耐震補強事業者協同組合・宿泊研修会, 於・梅田研修センター
みんなで取り組む“防災の輪”～尼崎市の災害リスク～	単独	2023年8月28日	尼崎市	たちばなの寺子屋 第2回, 於・立花南生涯学習プラザ2階会議室
みんなでクロスロード	共同	2023年8月30日	福島県西郷村	於・羽太小学校
はじめまして, 近藤ゼミです	単独	2023年8月31日	白河西ロータリークラブ	白河西ロータリークラブ定例会, 白河第一ホテル
災害情報を活用するために わがことにする知恵と工夫	単独	2023年9月4日	一般財団法人大阪建築防災センター	令和5年度秋季建築物防災講演会, 於・建築交流館8階グリーンホール
計画的に, 計画しない 防災実践共同体における二重疎外の超克	単独	2023年9月11日	防災計画研究発表会	第18回防災計画研究発表会2023, 京都大学宇治キャンパス
みんなのほうさい～我が事に, 我々事に～	単独	2023年9月20日	高槻北高校	高槻北高等学校防災教育講演会
防災と福祉を架橋する～“インクルーシブ防災”の輪～	単独	2023年9月29日	神戸西ロータリークラブ	神戸西ロータリークラブ(卓話), ホテルオークラ神戸 宴会場
地区防災計画と地域防災の実践活動	単独	2023年9月30日	兵庫県	令和5年度 令和5年度ひょうご防災リーダー養成講座, 兵庫県広域防災センター 講堂
みんなのほうさい インクルーシブ防災の輪を広げる	単独	2023年10月29日	草津市山田小学校区まちづくり協議会	草津市山田小学校区まちづくり協議会防災訓練, えんゆうの郷
ほうさいの種をまこう～つながること, つなげること～	単独	2023年11月12日	尼崎市難病団体連絡協議会	尼難連講演交流会 要援護者災害シンポジウム(8), 尼崎市立身体障害者福祉会館 大ホール
防災対策部会 広がる“学び愛”の輪	共同	2023年11月21日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市介護等 実践発表会, 於・高槻市役所
みんなのほうさい～我が事として考えよう～	単独	2023年11月22日	京都府立木津高校	於・京都府立木津高校
みんなで「ほうさい CREDO」	共同	2023年11月23日	福島県西郷村	於・羽太小学校
「災害報道」を展望する 現況の閉塞感を乗り越えるために	単独	2023年12月18日	日本放送労働組合	日本放送労働組合研修会, 於・TKP博多駅前シティセンター カンファレンス5
“ともに”の効用	単独	2023年12月20日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市介護保険事業者協議会 BCP 研修会, 於・高槻市役所
防災教育の輪を広げよう～学び合い, 学び愛～	単独	2023年12月26日	大阪府教育センター	令和5年度学校安全教育研究協議会・防災教室, 於・大阪私学会館4F 講堂
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2023年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業	代表	2023年度	290	難病患者・障害児者の防災力向上プロジェクト

研 究 業 績

以下、フリー記入
<p>(所属学会)</p> <p>日本自然災害学会</p> <p>日本災害情報学会 理事</p> <p>日本災害復興学会 理事</p> <p>地区防災計画学会 幹事</p> <p>日本安全教育学会</p> <p>日本グループ・ダイナミックス学会</p> <p>日本質的心理学会</p> <p>社会貢献学会 理事</p> <p>防災教育学会</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 客員教授</p> <p>徳島大学大学院創生科学研究科 非常勤講師</p> <p>堺市南区政策部会 特別構成員</p> <p>大阪市淀川区 地区防災計画改訂事業 アドバイザー</p> <p>滋賀県草津市山田小学校区まちづくり協議会 アドバイザー</p> <p>京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 運営協議会委員</p> <p>高槻市第八中学校区学校運営協議会 委員</p> <p>神戸市長田区真陽小学校区学校運営協議会 特別委員</p> <p>NHK 大阪放送局 「関西ラジオワイド・防災コラム」 レギュラーコメンテーター</p> <p>えふえむ草津「HappyBOUSAi」第135回～第158回 放送（台本監修）</p> <p>あま咲き放送局「あま咲き防災ラボ」第1回～第13回 放送（台本監修）</p> <p>ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）優秀賞（教育機関部門）4年連続入賞</p> <p>令和5年度「1.17防災未来賞・ほうさい甲子園」大学部門・優秀賞（9年連続入賞）</p> <p>関西大学学長奨励表彰6年度連続受賞</p> <p>ケーブルアワード2023 ベストプロモーション大賞 特別賞</p> <p>第25回人間サイズのまちづくり賞 奨励賞</p> <p>第63回地盤工学シンポジウム優秀論文賞</p> <p>演題名：局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期避難に向けた利活用に関する検討——福井市高須町における平成30年7月豪雨と令和3年7月29日の大雨の比較——（2023年4月）</p> <p>令和4年度地盤工学会関西支部賞、社会貢献奨励賞</p> <p>福井市高須町における局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期警戒・避難に向けた利活用に関する検討（2023年4月）</p> <p>高槻市日吉台コミュニティ夏祭りに防災ブースを出展（2023.8.19.）</p> <p>尼崎市市民祭りに防災ブースを出展（2023.10.1.）</p>

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(学術論文) ポスト・イデオロギー時代における社会医学を模索する	単著	2023年10月	日本社会医学会	社会医学研究, 40巻 2号, 123-128. (査読あり)
日本はCOVID-19のクライシスにどう向き合ったのか	単著	2023年1月	医学書院	総合臨床, 33巻 1号, 51-54.
食品関連事業者の社会的役割と社会的責任の相転移	単著	2023年12月	ビジネスセンター社	食品機械装置, 712号, 15-21.
(その他の著作・論考等) COVID-19の流行から公衆衛生の到達点をみる——現状分析と将来展望——	単著	2023年11月	全国保健師活動研究会	PHNブックレットNo.23, 9-45.
パンデミックの予防計画等の現状と課題——都道府県連携協議会——	単著	2023年11月	ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター	研究レターHem21 opinion Vol.80, 1-1.
(論文翻訳監修) 英国バイオバンク登録者における抗てんかん薬処方とパーキンソン病の発症リスクとの関連性の検討 Association Between Antiepileptic Drugs and Incident Parkinson Disease in the UK Biobank JAMA Neurol. 2022 Dec 27. doi: 10.1001/jamaneurol.2022.4699. Online ahead of print.	翻訳監修	2023年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202302ta/
イングランドにおける男性と性交渉をもつゲイ、バイセクシャルおよびその他の男性間の性行為感染に関連する広範囲薬剤耐性・多剤耐性フレクサナー赤痢菌 (Shigella flexneri) 血清型 2a の出現: 記述疫学研究 Emergence of extensively drug-resistant and multidrug-resistant Shigella flexneri serotype 2a associated with sexual transmission among gay, bisexual, and other men who have sex with men, in England: a descriptive epidemiological study Lancet Infect Dis. 2023 Jan 30; S1473-3099(22)00807-6. doi: 10.1016/S1473-3099(22)00807-6. Online ahead of print.	翻訳監修	2023年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202303ta/
COVID-19罹患全身性自己免疫性リウマチ性疾患の患者に対するSARS-CoV-2外来治療の有無による転帰の比較: 後ろ向きコホート研究 Outcomes with and without outpatient SARS-CoV-2 treatment for patients with COVID-19 and systemic autoimmune rheumatic diseases: a retrospective cohort study medRxiv. 2022 Oct 30; 2022.10.27.22281629. doi: 10.1101/2022.10.27.22281629. Preprint	翻訳監修	2023年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202304ta/

研 究 業 績

<p>乾癬の生物学的免疫製剤治療と炎症性関節炎の発症期間との関係の検討：後ろ向きコホート研究による評価 Association between biological immunotherapy for psoriasis and time to incident inflammatory arthritis: a retrospective cohort study Lancet Rheumatol. 2023; 5: e200-07. doi: https://doi.org/10.1016/S2665-9913(23)00034-6. Published Online March 6, 2023</p>	翻訳監修	2023年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202305ta/
<p>環境中の大気汚染物質濃度と臨床診断認知症との関連評価の研究——システムティックレビューとメタアナリシス—— Ambient air pollution and clinical dementia: systematic review and meta-analysis BMJ. 2023 Apr 5; 381: e071620. doi: 10.1136/bmj-2022-071620.</p>	翻訳監修	2023年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202306ta/
<p>免疫介在性炎症疾患の患者に対するメトトレキサート投与の副作用の層別リスク評価モデルの開発と検証：英国のプライマリケアの下での患者を対象とした研究 Risk stratified monitoring for methotrexate toxicity in immune mediated inflammatory diseases: prognostic model development and validation using primary care data from the UK https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37253479/</p>	翻訳監修	2023年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202307ta/
<p>重症筋無力症に対するRNAキメラ抗原受容体自家T細胞療法(MG-001)の安全性と有効性の検討：前向き多施設共同非盲検非無作為化試験(第1b/2a相) Safety and clinical activity of autologous RNA chimeric antigen receptor T-cell therapy in myasthenia gravis (MG-001): a prospective, multicentre, open-label, non-randomised phase 1b/2a study Lancet Neurol. 2023 Jul; 22(7): 578-590. doi: 10.1016/S1474-4422(23)00194-1.</p>	翻訳監修	2023年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202308ta/
<p>IgG4関連疾患患者治療薬オベキシリマブの安全性、有効性、作用機序の評価：非盲検単群単一施設の第2相予備試験 Evaluation of the safety, efficacy, and mechanism of action of obexelimab for the treatment of patients with IgG4-related disease: an open-label, single-arm, single centre, phase 2 pilot trial Lancet Rheumatol 2023; 5: e442-50</p>	翻訳監修	2023年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202309ta/
<p>オーストラリア全住民を対象とした認知症の低減可能リスクの集団寄与危険割合の人種別の検討：横断調査データを用いた解析 Potentially modifiable dementia risk factors in all Australians and within population groups: an analysis using cross-sectional survey data Lancet Public Health. 2023 Sep; 8(9): e717-e725. Doi: 10.1016/S2468-2667(23)00146-9.</p>	翻訳監修	2023年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202310ta/

<p>インターフェロンフリー時代におけるC型肝炎治療成功患者の生命予後：地域ベースのコホート研究 Mortality rates among patients successfully treated for hepatitis C in the era of interferon-free antivirals: population based cohort study BMJ. 2023 Aug 2; 382:e074001. doi: 10.1136/bmj-2022-074001.</p>	<p>翻訳監修</p>	<p>2023年10月</p>	<p>大阪難病研究財団</p>	<p>難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202311ta/</p>
<p>1990-2019年の世界的、地域別および国別にみた脊髄損傷の負担：Global Burden of Disease Study 2019の系統的解析 Global, regional, and national burden of spinal cord injury, 1990-2019: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2019 Lancet Neurol. 2023 Nov; 22(11): 1026-1047. Doi: 10.1016/S1474-4422(23)00287-9.</p>	<p>翻訳監修</p>	<p>2023年11月</p>	<p>大阪難病研究財団</p>	<p>難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202312ta/</p>
<p>X連鎖性ミオチューブラーミオパチーに対する遺伝子置換療法の安全性および有効性（ASPIRO試験）：多国間オープンラベル用量漸増試験 Safety and efficacy of gene replacement therapy for X-linked myotubular myopathy (ASPIRO): a multinational, open-label, dose-escalation trial Lancet Neurol. 2023 Dec; 22(12): 1125-1139. doi: 10.1016/S1474-4422(23)00313-7.</p>	<p>翻訳監修</p>	<p>2023年12月</p>	<p>大阪難病研究財団</p>	<p>難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202401ta/</p>

以下、フリー記入

(所属学会)

日本社会医学会・理事長

日本公衆衛生学会・理事（～2023年9月）

日本結核・非結核性抗酸菌症学会・功労会員

(社会貢献活動)

大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師

大阪府教育委員会事務局・学校保健指導医（技師）

大阪府立学校職員健康審査会・常任委員

大阪府立学校結核対策審議会・委員

東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員

高槻市地域包括ケア推進会議・委員長

高槻市保健医療審議会・委員

高槻市感染症診査協議会・委員

公益法人大阪成人病協会・評議員

枚方市健康増進計画審議会・委員長

ストップ結核パートナーシップ日本・理事

医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員

社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員

東大阪市保健所保健医療問題協議会・会長

日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・委員

社会医療法人愛仁会高槻病院臨床研修管理委員会・外部委員

研 究 業 績

■ 高 野 一 彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 外国法・国際規範とコンプライアンス経営	分担執筆	2023年3月	文真堂	日本経営倫理学会編『経営倫理入門—サ ステナビリティ経営を目指して—』第Ⅲ 部 国際アプローチ編 第10章、336-346頁
(学術論文) 企業における個人情報の利活用と保護の論 点—個人情報保護法の新規定とEU データ 保護法の整合を中心として—	単著	2023年9月	ソーシャル・リスク マネジメント学会	実践危機管理 第38号、12-20頁
(その他、論考・研究資料等) リスクマネジメントの過去、現在、未来	単著	2023年7月	経営倫理実践研究セ ンター	経営倫理106号、3-6頁
発表・講演の題目	共同・単独等	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会・学術団体発表) 企業における個人情報の利活用とコンプラ イアンス	単独	2023年1月28日	堀部政男情報法研究 会	堀部政男先生「瑞宝重光章」叙勲記念シ ンポジウムにおいてライトニングトーク とパネル、於京王プラザホテル八王子(東 京)
企業における個人情報の利活用と保護の論 点—情報に関する企業事件と改正個人情報 保護法の新規定を中心として—	単独	2023年5月20日	ソーシャル・リスク マネジメント学会	ソーシャル・リスクマネジメント学会全 国大会で研究報告、於 大阪市中央公会 堂(大阪)
企業における情報の利活用と保護のクロノ ロジー	単独	2023年9月9日	堀部政男情報法研究 会	個人情報保護法制定20周年・マイナンバ ー法制定10年記念シンポジウムにおいて ライトニングトークとパネル、於中央大 学市ヶ谷田町キャンパス(東京)
企業における個人情報の利活用と保護の論 点—EU データ保護法制の影響を中心とし て—	単独	2023年10月6日	日本経営倫理学会	法務コンプライアンス研究部会で研究報 告、於 早稲田大学(東京)
(招待講演) コンプライアンス問題の発生を防止するた めの組織づくり	単独	2023年2月22日	NEC フィールディ ング株式会社	同社のコンプライアンスセミナーで招聘 講演、於 同社本社(東京)及びオンライ ンのハイブリッド実施
コンプライアンス経営と企業風土—不祥事 の要因と発生を防止するための組織づくり —	単独	2023年3月17日	鹿児島県経済農業協 同組合連合会	同会のコンプライアンス講演会で招聘講 演、オンラインで実施
役員のためのコンプライアンス経営	単独	2023年5月12日	株式会社日立システ ムズ	同社グループの新任役員研修で招聘講 演、オンラインで実施
誠実さを発揮できる環境—ホテル買収事 案におけるケースディスカッション—	単独	2023年5月18日、 25日、31日の 3回	双日株式会社	同社の課長研修(MC/DC研修)で招聘 講演、於 御茶ノ水コンファレンスセンタ ー及びKFCホール両国(東京)
コンプライアンス経営と企業風土—不祥事 の要因と発生を防止するための組織づくり —	単独	2023年5月22日	プレミアアンチエイ ジング株式会社	同社のコンプライアンス講演会で招聘講 演、オンラインで実施
リスクマネジメント	単独	2023年6月29日、 7月5・6日、 9月7・20日の 5回	株式会社 富士通ゼ ネラル	同社のリスクマネジメント研修で招聘講 演、於 同社本社(神奈川)及びオンライ ンのハイブリッド実施
風通しの良い組織風土の醸成とコンプラ イアンス経営	単独	2023年8月30日	株式会社 浅川組	同社のコンプライアンス講演会で招聘講 演、於 同社本社(和歌山)及びオンライ ンのハイブリッド実施
風通しの良い組織風土の醸成とコンプラ イアンス経営	単独	2023年9月6日	三菱ケミカルグルー プ株式会社	三菱ケミカルグループ 2023年度コンプラ イアンス講演会(日韓リージョン)で招 聘講演、田辺三菱製薬 大阪本社で講演 動画を撮影し、10月2日から1年間、オ ンデマンドで同社グループ従業員約3万 5千人に配信

コンプライアンス経営	単独	2023年10月19日	中日本高速道路株式会社	同社の2023年度 所長研修で招聘講演、オンラインで実施
リスクマネジメントとコンプライアンス	単独	2023年11月2日	中日本高速道路株式会社	同社の2023年度 部長研修で招聘講演、於 同社本社（名古屋）
風通しの良い組織風土の醸成とコンプライアンス	単独	2023年11月3日	JR 東日本ビルディングス	東京サピアアカデミーで招聘講演、於 サピアタワー ステーションカンファレンス 東京（東京）
危機管理—内部統制（RM・コンプライアンス）—	単独	2023年11月10日、11月29日	大和製罐株式会社	同社の2023-24年度 管理職実践研修で招聘講演、於 同社本社（東京）
コンプライアンス—製品事故・ハラスメント問題と組織風土—	単独	2023年11月28日、12月1日・4日（午前・午後）・11日の5回	神鋼鋼線工業株式会社	同社の役員・管理職対象コンプライアンス研修で招聘講演、於 同社本社及び東梅田会場（大阪）
企業価値を創造するコンプライアンス経営	単独	2023年11月30日	日本生産性本部	同社主催の2023年度マネジメント・ケイパビリティ 役員コースで招聘講演、於 同社講義室（東京）
風通しの良い組織風土の醸成とコンプライアンス経営	単独	2023年12月7日	東北電力株式会社	東北電力新潟支社の企業倫理・コンプライアンス講演会で招聘講演、於 同社新潟支社講義室（新潟）及びオンラインのハイブリッド実施
近年の企業事件・不祥事の動向と見直しのポイント—風通しの良い組織風土の醸成とコンプライアンス経営—	単独	2023年12月15日	リスク対策. com	リスク対策. com 主催「リスク総括セミナー」で招聘講演、於 バンダスタジオ赤坂（東京）よりオンライン配信
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事（2011年6月～）、常任理事（2017年6月～現在）、同学会クライシスマネジメント研究部会 主査（2023年8月～現在）				
情報ネットワーク法学会 監事（2012年1月～現在）、同学会ネット社会法務研究会 主査（2019年3月～2021年3月）				
日本リスクマネジメント学会 監事・評議員（2008年9月～）、理事（2021年3月～現在）				
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事（2013年～現在）				
堀部政事情報法研究会 理事（2010年4月～）、監事（2019年1月～現在）				
日本DPO協会 顧問（2020年1月～現在）				
日本リスク学会 会員				
法とコンピュータ学会 会員				
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
情報法制学会 会員				
(社会貢献活動)				
経営倫理実践研究センター フェロー（2010年4月～）、主任研究員（2011年4月～）、上席研究員（2012年4月～現在）、理事（2023年6月～現在）				
神戸市 行政データの利活用に関する有識者会議 委員（2022年4月～現在）				
情報法制研究所 参与（2016年5月～現在）				
株式会社アデランス 社外取締役（2016年5月～現在）				
関西電力株式会社 経営監査委員（2014年7月～2021年6月）、ビジネスと人権 アドバイザー（2021年12月～現在）				
公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員（2014年11月～現在）				
西日本旅客鉄道株式会社 アドバイザー（2018年3月～現在）、グループリスクマネジメント委員会 社外委員（2023年3月～現在）				
西日本高速道路株式会社 コンプライアンス委員会 委員（2021年4月～現在）				
(その他業績として記載を希望する事項)				
✓2023年8月26日、日本経営倫理学会「2023年度 研究法ワークショップ」で講演と座談会に登壇、法政大学及びオンラインで実施 講演テーマは「本学会の citation rule と著作権、被調査者の個人データ保護」 座談会のテーマは「評価される査読論文・学位請求論文を執筆するにはどうすれば良いか」				
✓2023年11月6日、経営倫理実践研究センター アドバイザーコラム「日本経営倫理学会 クライシスマネジメント研究部会の発足に関して」寄稿				
✓2023年5月20日、経営倫理実践研究センター アドバイザーコラム「企業価値を創造するコンプライアンス・CSR」寄稿				
✓2023年7月21日、経営倫理実践研究センター オープンセミナー「『持続可能で安全・安心な社会』のために企業はどのような貢献ができるか—自然災害・社会災害の両面からの探求—」をテーマに河田恵昭先生、安部誠治先生を招聘し、関西大学梅田キャンパス（大阪）及びオンラインのハイブリッドで開催				

研 究 業 績

✓企業との調査研究・開発プロジェクトへの参画

2022年12月～2023年5月、双日株式会社「双日・誠実プロジェクト」(双日グループの誠実な社風の醸成・浸透プロジェクト)

2023年1月～4月、株式会社電通PRコンサルティング「企業の危機管理対応調査」 など

■ 高橋 智幸

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Highly Efficient Coral Propagation using Titanium and Regenerative Medicine Techniques	共同	2023年6月13日	Institute of Materials, Minerals & Mining	World Titanium Conference 2023, Masato Ueda, Nanako Kosaka, Tomoyuki Takahashi and Masahiko Ikeda, Edinburgh
(招待講演) SDGs・カーボンニュートラルを踏まえた大阪・関西万博への挑戦	単独	2023年2月15日	日本経済新聞社, 日経BP	日経SDGsフェスティバル大阪関西——2025年大阪・関西万博に向けて——, オンライン
関西大学におけるカーボンニュートラルの取り組み——SDGsと大阪・関西万博を見据えて——	単独	2023年2月28日	東京都立大学法人	東京都立大学法人×関西大学「未来の地球環境を考える～」オンライン環境シンポジウム, オンライン
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2023年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 原子力規制庁 共同研究	分担	2021~2023年	0	既往の巨大津波の波源推定——1611年慶長三陸地震津波を例として——
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本土木学会 日本自然災害学会 日本地球惑星科学連合 American Geophysical Union				
(社会貢献活動) 土木学会 原子力土木委員会 委員 土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長 土木学会 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン小委員会 委員 土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員 土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員 日本自然災害学会 科学編集委員会 委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member Journal of Disaster Research Editorial Board Member 文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員 国土交通省 東北地方整備局 リバーカウンセラー 原子力規制委員会 原子炉安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会 臨時委員 原子力規制委員会 核燃料安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会 臨時委員 防災科学技術研究所 津波ハザード・リスク情報の高度利用に関する委員会 委員 大阪府 石油コンビナート等防災本部 専門員 徳島県 南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会 委員 沖縄県 高潮浸水シミュレーションモデルの構築等に係るアドバイザー 高槻市 都市計画審議会 委員 国立大学法人愛媛大学 客員教授 特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 副理事長 財団法人防災研究協会 非常勤研究員				

研究業績

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) A Case Study of Disaster Risk Reduction in Schools for the Blind in Thailand.	共著	2023年6月	IGI Global	International Journal of Disaster Response and Emergency Management, 6(1), 1-14 (査読有) (Wongsuriyanan, C. & Tsuchida, S.) [DOI: 10.4018/IJDREM.3245746]
ウラン含有廃棄物の取扱いに関する人文・ 社会科学的視点からの考察	共著	2023年12月	日本保健物理学会	保健物理, 58巻, 3号, 120-134. (査読 有) (保田浩志, 齋藤龍郎, 麓弘道, 菅原 慎悦, 土田昭司, 笠井篤, 古田定昭) [DOI: 10.5453/jhps.58.120]
(その他、論考・研究資料等) 激動の時代における社会安全	単著	2023年3月	社会安全研究センタ ー	社会安全学研究, 第13巻, 学部の展望, v-vi.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 社会・環境部会が進める情報発信活動 (理事会企画セッション「学会の情報発信力 を高めるには」)	単独	2023年9月7日	日本原子力学会	日本原子力学会2023年秋の大会(名古屋 大学東山キャンパス)
地震対策促進のための仮想現実および拡張 現実を用いた体験型学習アプリケーション 開発の試み	共同	2023年10月28日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第27回学会大会(福島 学院大学・コラッセふくしま)(野元颯 馬, 土田昭司, 河野和宏, Chayanee WONGSURİYANAN, 浦山 郁, 静間 健 人, Titaya SARARIT)
効果的なリスクコミュニケーションの実践 に向けた評価手法の開発: 事例収集と構成 要素の検討	共同	2023年11月12日	日本リスク学会	第36回日本リスク学会年次大会(北海道 大学)(土田昭司, 桑垣玲子, 堀越秀彦, 竹田宜人, 藤井中, 佐田務, 中山敬太)
(招待講演) リスクコミュニケーション実践研修	単独	2023年1月31日	公益財団法人 若狭 湾エネルギー研究セ ンター	経済産業省「令和4年度原子力産業基盤 強化研修」(若狭湾エネルギー研究セン ター [福井県敦賀市])
リスクコミュニケーションについて	単独	2023年5月23日	原子力委員会	原子力委員会定例会議(令和5年5月)
緊急事態における安全を心理学から考える	単独	2023年8月1日	関西大学	2023年度教職員対象研修講座(関西大学 [大阪府吹田市])
Concept of Safety and Risk And Human Perception of Environment	単独	2023年8月29日	Chiang Mai University	Graduate school of Architecture, Selected topic in built environment human-centered design (HCD) research and innovation [チェンマイ, タイ王国]
感情の時間と理解の時間: ヒトの認識・判 断の「不思議」	単独	2023年9月5日	関西大学	セミナー「関大の知にふれる」北陽高等 学校 [大阪府高槻市]
地層処分における社会的受容: 将来世代へ の配慮を中心に	単独	2023年11月19日	日本保健物理学会	「放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・ 社会科学的視点からの考察に関する専門 研究会」(online)
リスクコミュニケーション: 理解と信頼の 構築	単独	2023年10月32日	一般社団法人 日本 原子力文化財団	「地層処分事業の理解に向けた自主企画 支援事業」(online)
Risk Communications by Japanese government at Fukushima-Daiichi NPP Accident	単独	2023年12月8日	Asian Institute of Technology	Structural Engineering Forum [バンコ ク, タイ王国]
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助 成金)[基礎研究(C)]	代表	2018年度- 2023年度	925 (3,900)	中国における災害時パニックおよび災害 時クレーズの発生要因についての研究
東北電力ネットワーク株式会社「受託研究」	代表	2023年度	1,267 (1,267)	EMFコミュニケーションの動向調査研究

社会安全学研究 第14巻

環境省「令和5年度放射線健康管理・健康不安対策事業」	代表	2023年度-2025年度	8,776 (未定)	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案
以下、フリー記入				
(所属学会)				
国際リスク解析学会 (フェロー) [The Society for Risk Analysis (Fellow)]				
アジアリスク解析学会 (後会長) [The Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis (Past-President)]				
日本リスク学会 (表彰委員長)				
日本原子力学会 (社会・環境部会長, フェロー)				
日本保健物理学会				
日本災害情報学会				
日本行動計量学会				
日本心理学会				
日本社会心理学会				
日本グループ・ダイナミクス学会				
日本応用心理学会				
日本消費者行動研究学会				
(社会貢献活動)				
国際放射線防護委員会, 「TG114」委員 [International Commission on Radiological Protection (ICRP) Task Group (TG) 114 (Member)]				
(一般社団) 日本原子力学会, 「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会主査				
(一般社団) 日本保健物理学会, 「人文・社会科学視点から考察する自然起源放射性物質含有廃棄物の取扱い専門研究会」委員				
(一般社団) 日本リスク学会, 「リスクコミュニケーション事例研究」タスクグループ・メンバー				
(公益財) JR西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員				
(国立研究開発) 情報通信研究機構, 「電波ばく露レベルモニタリングに関するリスクコミュニケーション委員会」委員				
(財) 電気安全環境研究所, 経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員				
(財) 電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員				
(財) 電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー				
(財) 大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員				
(NPO 法人) 安全安心科学アカデミー, 「放射線安全管理士」資格認証運営委員				
(その他業績として記載を希望する事項)				
日本原子力学会2023年秋の大会 (名古屋大学東山キャンパス) (2023年9月8日) 社会・環境部会企画セッション「原子力の哲学」においてパネル討論者を務めた。				
国際放射線防護委員会2023年東京会議 (ICRP 2023 Tokyo) (グランドニッコー東京台場) (2023年11月7日) セッション「コミュニケーション」において共同座長を務めた。				

研究業績

■ 永田 尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有場合はその旨
(著書) 日本の消防行政の研究：組織間関係と補完体制 港区史現代 消防、防災、危機管理	単著 共著	2023年5月 2023年3月	一藝社 港区	P1-320 大山耕輔・石上泰州監修、永田尚三他著。私は、第9章「安全・安心な港区を目指して」の第1節第1、2項(P147-148)、第2節第1、2項(P151-152)、第3節第1、2項(P155-156)、第4節第1、2、4項(P158-159、P161-162)を担当した。
(学術論文) わが国の消防行政における組織間関係及び補完体制についての一考察 市町村消防における地域間格差の是正策の検討——ポスト消防の広域再編について考える—— 地方が取り組む「防災DX」とはどんなもの？ 「防災DXの必要性」——群馬にもどうして導入が必要なのか—— 人口減少時代における消防団の現状と課題	単著 単著 単著 単著 単著	2023年2月 2023年2月 2023年7月 2023年9月 2023年12月	武蔵野大学政治経済研究所 慶應義塾大学法学部 全国市議会議長会、全国町村議会議長会 群馬県町村会 日本火災学会	武蔵野大学政治経済研究所年報(22)、P175-201 慶應義塾大学法学研究・大山耕輔先生退職記念号 96(2) P299-322 地方議会人(7月) P16-19 広報「群馬自治」10月号 P3-5 人口減少時代における消防団の現状と課題
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表、討論会) 災害としてのパンデミック・感染症行政 危機管理の視点からみたCOVID-19への対応 行政相談委員の災害対応の現状と今後への期待 消防の他実働組織との連携体制の現状と課題	単独 単独 単独 単独	2023年9月5日 2023年9月19日 2023年9月30日 2023年12月9日	医療政策学研究会 公益財団法人医療科学研究所 日本オンブズマン学会 防災科学研究所	医療政策学研究会、於関税学院大学梅田キャンパス 「健康危機管理に対するガバナンス」プロジェクト、於公益財団法人医療科学研究所 第18回第18回総会・シンポジウム、於同志社大学 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催記念 安全安心な社会の実現に向けた実働機関の連携に関する討論会 於つくば国際会議場
(招聘講演) 南海トラフ地震を見据えた地域・行政の体制 東南海・南海地震への備え～減災・防災について～ 南海トラフ地震はいつ起こる？知っておきたい被害想定と対策 大災害と日本の危機管理	単独 単独 単独 単独	2023年6月16日 2023年6月24日 2023年7月1日 2023年10月14日	大阪公立大学都市経営研究科 政研フォーラム 政研フォーラム 政研フォーラム	ワークショップ講演、梅田サテライト 和歌山県連絡会「研修会」講演 高知県連絡会「研修会」講演 奈良県「研修会」講演
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2023年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	研究代表者	2021～2024年	1000(4,160)	特殊災害に対する実効性のある危機管理体制、中央地方関係についての研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会(理事)、日本オンブズマン学会(理事、企画委員長)、日本行政学会、日本政治学会				
(社会貢献活動) 奈良県広域消防組合消防本部組合企画調整会議 外部委員、2023年5月～現在				

高槻市，産業振興審議会委員，2022年6月－現在

政策研究フォーラム，理事，2021年4月－現在

株式会社タスキテック，顧問，2019年4月－現在

株式会社 WAVE 1 顧問，2023年－現在

研究業績

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
多様な支援実態を踏まえた地域防災ファシリテーション形の改善の試み	共著	2023年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集 42(0), 37-46, 李泰榮・松川杏寧・千葉洋平と共著(査読有)
Increasing the Resilience of Japanese Companies to Address Multi-hazard Risks	共著	2023年12月	IDRiM	IDRiM Journal, 13(2), Yohei Chibaと共著(査読有)
企業の事業継続戦略オプションと「お互い様BC連携」の考察	共著	2023年9月	防災科学技術研究所	防災科学技術研究所研究報告, 88, 1-10. 千葉洋平, 細坪信二と共著(査読有)
高等学校「地理総合」における防災教育の展開のための教員研修プログラムの開発	共著	2023年	日本地理学会	E-journal GEO 18(2), 199-213, 小田隆史ほかと共著(査読有)
商店街振興イベントとしての防災スタンプラリーの開発	共著	2023年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, No.52, 273-276, 森腰知美と共著
災害レジリエンス評価指標の実証的検証に関する文献調査	共著	2023年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, No.52, 263-266, 塩崎由人・佐藤慶一と共著
応急対応DX:市区町村災害対応の変革を目指して	共著	2023年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, No.53, 93-96, 宇田川真之ほかと共著
地域での防災活動にかかる研究知見の整理	共著	2023年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, No.53, 53-56, 辻岡綾, 李泰榮と共著
防災基礎力尺度の開発	共著	2023年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, No.53, 143-146, 松川杏寧, 大塚理加と共著
Disaster Resilience Scale for Individuals: A Fundamental Requirement for a Disaster-Resilient Society	共著	2023年7月	SSRN	preprint, Anna Matsukawa, Rika Otsuka, and Haruo Hayashiと共著
Understanding the Compound Risk Context of Goma City Through the Pressure and Release Model	共著	2023年2月	SSRN	preprint, Chrioni Tshiswaka Tshilumbaと共著
(その他、論考・研究資料等)				
社会のレジリエンス向上のために 災害過程の科学的解明と効果的な災害対応に関する研究	単著	2023年3月	防災科学技術研究所	防災科研ニュース 220 28-29
そもそも災害過程研究って、何？	単著	2023年9月	防災科学技術研究所	防災科研ニュース 222 3-3,
経済学で考える南海トラフ巨大地震への心構え:資産等被害額171・6兆円(想定)の衝撃	単著	2023年11月	公明党	公明(213) 20-25.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
商店街振興イベントとしての防災スタンプラリーの開発	共著	2023年5月	地域安全学会	2023年度春季大会, 神奈川大学みなとみらいキャンパス
災害レジリエンスから変革的ガバナンスへ	単著	2023年7月	日本公共政策学会	2023年度大会, コラッセふくしま
応急対応DX:市区町村災害対応の変革を目指して	共著	2023年11月	地域安全学会	2023年度大会, 静岡県地震防災センター
Cash for Work (CFW) program under COVID-19 in Japan: A tool for a resilient society	単著	2023年10月	IDRiM Conference	Indian Institute of Technology, Roorkey, India
(招待講演)				
巨大災害による我が国の経済リスク	単著	2023年2月	防災科学技術研究所	令和4年度第4回災害レジリエンス共創研究会 セミナー, 防災科研東京会議室
南海トラフ巨大地震と我が国の経済リスク	単著	2023年5月	(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構	シンポジウム「国難災害:南海トラフ地震に立ち向かうために」ホテルクラウンパレス神戸
キャッシュ・フォー・ワーク・災害レジリエンスを高める社会技術	単著	2023年5月	地域安全学会	地域安全学会2023年度春季大会, 2022年度技術賞受賞記念講演

社会安全学研究 第14巻

Developing a risk visualizer for SMEs: a tool for closing the protection gap	単著	2023年7月	Asia Pacific Risk and Insurance Association (APRIA)	27th Annual Conference, Kansai University
Report of Research Working Group	共著	2023年9月	日本学術会議	国際シンポジウム「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2023『壊滅的災害に対してレジリエントで持続可能な社会への変革』」
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 国際緊急共同研究・調査支援プログラム (J-Rapid)	研究分担者	2023年8月～ 2024年7月	670 (670)	カフラマンマラシュ地震における企業及び工業団地(OIZ)の事業継続と経済復興(研究代表者: 阪本真由美)
科研費基盤 A	研究分担者	2023年4月～ 2027年3月	3450	「復興の総合知」を用いた災害復興社会のシミュレーションと最適戦略策定手法の提案(研究代表者: 越山健治)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会, 日本経済学会, 日本計画行政学会, 地域安全学会, 日本自然災害学会, 日本リスク研究学会, 日本災害復興学会, 日本災害情報学会, 日本保険学会, Integrated Disaster Risk Managemnt (IDRiM) Society				
(社会貢献活動) 文部科学省科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 防災科学技術委員会 委員 福島国際研究教育機構 委託研究契約審査委員会 委員 プロジェクトリーダー(防災分野), 「中小企業イノベーション創出推進事業(文部科学省分)」 Journal of Disaster Reaserch (JDR) 編集委員 Editor, IDRiM Journal 日本災害情報学会, 企画委員会副委員長, 学会大会委員会委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 部門長 (クロスアポイントによる兼任)				

研 究 業 績

■ 中 村 隆 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部s分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) ヒューマンエラーとの向き合い方	単著	2023年11月	清文社	公益財団法人納税協会連合会季刊誌ふれ あい 2023年冬号「ふれあい経営者セミ ナー」 pp.2-5
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基 盤開発推進研究事業	分担	2022年4月～ 2024年3月		ドクターヘリの効果的な運用と安全管理 に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本心理学会 正会員				
日本応用心理学会 正会員				
日本人間工学会 正会員				
日本交通心理学会 正会員				
産業組織心理学会 正会員				
日本ヒューマンインタフェース学会 正会員				
土木学会 正会員				
電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員				
日本航空医療学会 正会員				
日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員				
安全工学会 学術委員会委員 正会員				
(その他業績として記載を希望する事項)				
東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導, 他 2023年4月～2024年3月				
一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2023年6月1日～11月30日				
大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2023年4月～2024年3月				
センコーグループホールディングス株式会社 プロドライバーへの安全教育カリキュラム策定に関するコンサルティング 2023年4月～ 2024年3月				
株式会社シーテック 安全管理についての指導・支援 2023年4月～2024年3月				
よつ葉乳業株式会社 労働安全誓いの日 講演「ヒューマンファクターズを踏まえた労働安全対策」 十勝主管工場 2023年6月1日				
関西大学理工系学部安全衛生週間 安全衛生講演会 講演「ヒューマンファクターズを踏まえた大学における安全管理」 2023年6月21日				
一般社団法人全国登録教習機関協会 高所作業車危険再認識教育講師養成研修 講師 (株)アイチコーポレーション アイチ研修センタ ー上尾教習所 2023年7月13日～14日				
中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第1回川崎重工業株式会社ライン長研修 講師 2023年9月7日				
茨木市こども育成部保育幼稚園総務課 令和5年度事故防止研修 基調講演「事故防止対策・ヒューマンエラー」茨木市男女共生センター ローズWAM 2023年10月27日				
中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第11回安全衛生専門講座 安全心理コース ヒューマンエラー災害防止対策 講師 2023年10月30日～11月1日				

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) COVID-19に伴う社会活動の変化が地動ノ イズレベルに与える影響——大阪平野北部 地域における観測事例——	共著	2023年3月	関西大学社会安全研 究センター	社会安全学研究, vol.13, p.3-15, 植木暖 人・飯尾能久と共著 (査読有).
(その他、論考・研究資料等)				
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(3) 濃尾地 震と震災予防調査会の設置	単著	2023年1月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.1, p.79-84.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(4) 震災予 防調査会の研究活動(その1)	単著	2023年2月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.2, p.155-161.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(5) 震災予 防調査会の研究活動(その2)	単著	2023年3月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.3, p.237-242.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(6) 震災予 防調査会の研究活動(その3)	単著	2023年4月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.4, p.317-321.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(7) 昭和三 陸津波の石碑	単著	2023年5月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.5, p.423-428.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(8) 四国に 残る津波の石碑	単著	2023年6月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.6, p.543-548.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(9) 南海ト ラフ地震の繰り返しとその防災	単著	2023年7月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.7, p.621-626.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(10) 関東 大震災の被害とその伝承	単著	2023年8月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.8, p.727-731.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(11) 関東 大震災からの復興を伝えるもの, 金属	単著	2023年9月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.9, p.801-806.
石碑と墓碑でたどる地震の歴史(12: 最終 回) 地震研究体制の刷新	単著	2023年10月	アグネ技術センター	金属, vol.93, No.10, p.915-920.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
後発地震情報の認知度と対応行動に関する 市民意識調査	共同	2023年5月23日	日本地球惑星科学連 合	日本地球惑星科学連合大会, 幕張メッセ
歴史地震研究者の墓をたずねて	単独	2023年9月1日	歴史地震研究会	歴史地震研究会小田原大会, 小田原三の 丸ホール
南海トラフ地震臨時情報の認知度と対応行 動に関する意識調査	共同	2023年11月2日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, パシフィコ横浜
地震リスクの認知と防災対策行動の実施度	共同	2023年11月12日	日本リスク学会	日本リスク学会年次大会, 北海道大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費・基盤研究(B)	分担	2023-2026	300 (1,600)	IdealQuakeを核とした新たな設計用地震 動構成法の開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本地震学会				
歴史地震研究会				
Seismological Society of America				
日本地球惑星科学連合				
日本災害情報学会				
(社会貢献活動)				
静岡大学防災総合センター客員教授(2016-)				
公益社団法人日本地震学会, 代議員(2006-)				
日本金属プレス工業協会, 安全環境委員会・委員(2013-)				

研究業績

■ 廣川 空美

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Hofstede's national cultural values and low birth rate and longevity: an ecological study	共著	2023年7月 / 印刷中	Springer	Journal of Adult Development Kasuga A, Gondo Y, Honjo K, Taras V データ解析および執筆を担当 (査読あり)
看護学教育における大学卒業段階での到達状況と卒業後の動向の把握——大学教育へのフィードバックシステムの基盤構築に向けて——	共著	2023年3月	梅花女子大学	梅花女子大学看護保健学部研究紀要, 13, 1-9. 香川由美子, 福田正道, 坪井茉莉 研究計画の立案, データ収集, 論文の構成を担当 (査読あり)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Associations between 2D:4D digit ratio and cognitive function among elderly Japanese people: a cross-sectional analysis of the SONIC study	共同	2023年6月12日	IAGG-AOR2023	The 12th IAGG Asia/Oceania Regional Congress, Yokohama, Japan
Associations between 2D:4D digit ratio and frailty among 80-years old Japanese elderly: a cross-sectional analysis of the SONIC study	共同	2023年6月12日	IAGG-AOR2023	The 12th IAGG Asia/Oceania Regional Congress, Yokohama, Japan
女性労働者における月経症状とメンタルヘルスの関連	共同	2023年9月17日	日本心理学会	第87回大会於神戸国際会議場
国や地域の快樂主義と高齢者の幸福感との関連: SHARE データによる25カ国のマルチレベル分析	共同	2023年10月29日	日本応用老年学会	第18回日本応用老年学会於大阪大学
不確実性の回避傾向尺度の作成: 比較可能な日本語版及び英語版尺度の作成	共同	2023年10月29日	日本応用老年学会	第18回日本応用老年学会於大阪大学
女性労働者の更年期症状とメンタルヘルスの関連	共同	2023年11月12日	関西心理学会	第134回関西心理学会於立命館大学いばらきキャンパス
(招待講演) 「心理学的ジェンダーの健康への影響」: 於シンポジウム「ジェンダーの健康への影響」	共同	2023年10月29日	日本応用老年学会	第18回日本応用老年学会於大阪大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 (基盤 (C))	代表者	2020年4月～2024年3月	1219	高齢者の幸福感に及ぼす文化的影響に関するマルチレベル研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会会員 日本産業衛生学会会員 日本健康心理学会 (2014年4月～2017年6月まで 健康心理学研究編集員, 2015年6月から現在に至る) 日本公衆衛生学会会員 (2016年9月～現在に至る モニタリング・レポート産業保健グループ) 日本ストレスマネジメント学会 (2020年4月～2023年3月まで理事, 編集委員) 日本疫学会員 (2017年6月～2020年2月まで 代議員 2017年～2022年まで広報委員)				

■ 細川 茂雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Effects of microbubbles on removal of viscous oil adhering to channel wall	共著	2023年3月	Elsevier	Chemical Engineering Research and Design, Vol.193, pp.75-84, Yuegui Li, Kosuke Hayashi, Fuyuki Okamoto, Akio Tomiya (査読有)
Numerical prediction of size distribution of micro-bubbles in water with mass transfer	共著	2023年12月	Begell House	Multiphase Science and Technology, Vol.36, No. 2, pp.41-54, Yuegui Lee, Kosuke Hayashi, Akio Tomiyama, Yasunari Maeda (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Spatiotemporal filter velocimetry with arbitrary-shaped measurement region for accurate measurement in the vicinity of a boundary	単独	2023年12月		International Symposium on Measurement Techniques for Multiphase Flow 2023, Tokyo Institute of Technology
Experimntal diagnostics of contaminated spherical drop using spatiotemporal filter velocimetry	共同	2023年12月	IUTAM	IUTAM Symposium on Dynamics and Interface Phenomena of Bubbles and Droplets at Multiple Scales, The University of Tokyo
静止水中に落下した熔融金属の凝固形状	共同	2023年8月	日本混相流学会	混相流シンポジウム2023, 北海道大学
先進的核熱連成シミュレーションシステム の開発 (9) 検証データ取得のための燃料バ ンドル内気液二相流測定技術の開発	共同	2023年8月	日本原子力学会	秋の大会, 名古屋
(招待講演) ファインバブルの生成と気泡径変化	単独	2023年7月27日	日本伝熱学会	日本伝熱学会関西支部第30期第2回講演 討論会
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会, 動力エネルギーシステム部門代議員・運営委員会委員・学会企画委員会委員長 日本原子力学会 日本混相流学会, 筆頭副会長, 理事 日本伝熱学会 日本航空宇宙学会 日本流体力学会 自動車技術会 可視化情報学会				
(社会貢献活動) Experimental Thermal and Fluid Science (Elsevier), Editor 21st International Symposium on Application of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics, Advisory Committee Member ASME-JSME-KSME Fluids Engineering Division Joint Conference (AJKFED 2023), Organizing Committee, Secretary International Symposium on Measurement Techniquis for Multiphase Flow 2023, Co-chair 一般社団法人 原子力安全推進協会 原子力防災訓練検討委員会 A会議 アドバイザリーボード委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 原子燃料工業との共同研究 日本原子力研究開発機構, MHI 原子力研究開発株式会社との共同研究				

研究業績

■元吉忠寛

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 大雨時における住民の災害情報の認識と避難行動—2022年8月の前線による大雨を事例として—	単独	2023年9月7日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第64回大会, 上智大学
避難行動に対する住民の意識 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)の被災県の住民を対象として	単独	2023年9月17日	日本心理学会	日本心理学会第87回大会, 神戸国際会議場・神戸国際展示場
地震リスクの認知と防災対策行動の実施度	共同	2023年11月12日	日本リスク学会	第36回日本リスク学会年次大会, 北海道大学
(招聘講演) 避難できない私たちのこころ	単独	2023年5月29日	高岡市・高岡市防火管理協議会・(公社)富山県危険物安全協会連合会	高岡市防災講演会, ホテルニューオータニ高岡
こころの防災—災害心理学から学ぶ自助—	単独	2023年6月16日	諏訪圏青年会議所	第233例会, 茅野市マリオローヤル会館
被災後のストレスを軽減するために—こころの防災を考える—	単独	2023年11月4日	大阪科学技術センター	第23回LSSサイエンスカフェ, 大阪科学技術センター
発災後の心理変化に対応するための事前の個人での備え	単独	2023年11月17日	東急不動産株式会社	防災研修, オンライン
沖縄の災害文化の特徴	単独	2023年11月23日	関西大学・関西大学教育後援会・関西大学校友会	特別講演会沖縄の安全と豊かな社会を考える, パシフィックホテル沖縄
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2023年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)	代表	2020~2023年度	910(4,420)	避難行動を促進するためのレジリエンス防災の提案
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2022~2025年度	500(17,160)	情報伝達の多側面に着目した実効性の高い非常時メッセージの原理解明と開発
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会, 災害研究支援委員会委員 日本教育心理学会, 編集委員 日本グループ・ダイナミックス学会 日本社会心理学会 日本リスク学会 Society for Risk Analysis American Psychological Association				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学学校安全推進センター共同研究員				

■ 山崎 栄一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 個別避難計画の作成とチェックの8 Step～ 災害対策で押さえておきたい個人情報の活用 と保護のポイント～	共著	2023年7月	ぎょうせい	山崎栄一＝岡本正＝板倉陽一郎、本人担 当箇所：Step①、②、③ 1.2.3.(1～51 頁)、⑦ 2.(157～160頁)、⑧1.2.3.4.(1) (165～185頁)、5(6)(208～211頁)(全 217頁)
(その他、論考・研究資料等) 中年男の「災害七大リスク研究」[中年男子 はリスクを軽視された「災害弱者」] 災害復興学事典	単著 分担執筆	2023年7月 2023年9月	扶桑社 朝倉書店	週刊SPA!、7月11日号、33頁 編者：日本災害復興学会、第2章を編集 担当、本人担当箇所：第2章2-1避難生活 (50～53頁)(全293頁)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 個別避難計画と個人情報について	単独	2023年6月7日	一般財団法人情報法 制研究所(JILIS)	第7回 情報法制シンポジウム Day1 「災害と個人情報～個人情報保護法制一 元化と防災分野の個人情報取扱指針を踏 まえた今後の展望～」オンライン
個別避難計画と個人情報の保護と活用	単独	2023年7月1日	福祉権理論研究会	関西大学高槻ミュージックキャンパス(大阪 府)
個別避難計画と個人情報	単独	2023年7月29日	京都行政法研究会	職員会館かもがわ 中会議室(京都府) オンライン
災害法制の歴史と将来像	単独	2023年9月18日	防災推進国民大会実 行委員会	ぼうさいこくたい2023 横浜国立大学 (神奈川県)
避難所外避難者への支援と課題——法制度 からの検証 自然災害における強制避難の可能性	単独	2023年11月18日	京都行政法研究会	職員会館かもがわ 大多目的室(京都 府) オンライン
分科会 災害復興及び大規模災害時特有の 法原理・原則	コーディネ ーター	2023年12月2日	日本災害復興学会	2023年度 静岡大会 常葉大学(静岡 県)
(招待講演) 行政の災害対策と危機管理	単独	2023年1月20日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪 府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年1月22日	防災士研修センター	防災士研修講座 オルガホール(岡山 県)
災害救助法の概要について	単独	2023年1月30日	関西広域連合	災害救助法実務担当者研修 オンライン
被災者支援制度	単独	2023年2月27日	JVOAD	JVOAD 2022年度 被災者支援コーディネ ーター育成研修 オンラインによる研 修 収録日
災害時の法制度から考える～被災者・要配 慮者支援のあり方～	単独	2023年3月9日	大分県社協	研修会 大分県総合福祉会館(大分県)
私たちが地域で取り組む防災対策	コーディネ ーター	2023年3月10日	大分県 佐伯市	令和4年度 大分県防災活動推進講演会 パネルディスカッション さいき城山桜 ホール 大ホール(大分県)
被災者の生活支援・災害時要援護者対策	単独	2023年3月19日	兵庫県	令和4年度 ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター
災害関連法体系基礎	単独	2023年6月2日	人と防災未来センタ ー	災害対策専門研修(自治体職員向け) オンライン
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年6月9日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪 府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年6月11日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪 府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年6月18日	防災士研修センター	防災士研修講座 オルガホール(岡山 県)

研究業績

被災者支援と法	単独	2023年8月1日	関西大学	教職員対象研修講座 千里山キャンパス(大阪府)
災害と法	単独	2023年8月23日	大阪府立大学工業高等専門学校	大阪府立大学工業高等専門学校(大阪府)
被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2023年8月27日	兵庫県	令和5年度 中播磨・西播磨地域ひょうご防災リーダー講座 兵庫県姫路総合庁舎 職員福利センター3階大会議室(兵庫県)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年10月21日	防災士研修センター	防災士研修講座 百花プラザ(西大寺緑花公園内)(岡山県)
被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2023年10月28日	芦屋市	芦屋市防災士養成講座 芦屋市役所(兵庫県)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年10月28日	防災士研修センター	中国地方郵便局長会防災士研修講座 まなびの館ローズコム(福山市生涯学習プラザ)(広島県)
法学者から見た学校防災、防災教育のあり方	単独	2023年11月2日	滋賀県教育委員会	令和5年度「滋賀県学校(園)防災教育コーディネーター講習会」栗東文化芸術会館 さきら 中ホール(滋賀県)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年11月3日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年11月5日	防災士研修センター	防災士研修講座 大阪私学会館(大阪府)
行政の災害対策と危機管理	単独	2023年11月5日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪府)
被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2023年11月12日	兵庫県	令和5年度 ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター(兵庫県)
沖縄における災害対策——国民保護とその課題	単独	2023年11月23日	関西大学	教育後援会 パシフィックホテル沖縄(沖縄県)
被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2023年11月25日	防災士研修センター	防災士研修講座 備中県民局(岡山県)
被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2023年12月16日	防災士研修センター	防災士研修講座 木津川市役所(京都府)
被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2023年12月16日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール(大阪府)
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2023年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽)	分担	2020~2021年(2023年まで延長)	581(4,800)	首都直下地震等大規模災害のセーフティネットとしての準公営住宅の国際比較研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会(総務委員会副委員長)				
日本災害情報学会 地域安全学会 日本火災学会 日本グループホーム学会 地区防災計画学会(幹事)				
(社会貢献活動)				
総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員				
関西広域連合 関西広域防災計画策定委員会 委員				
高槻市 個人情報保護運営審議会 委員				
RASA(地域原子力防災支援協議会) 理事				
(その他業績として記載を希望する事項)				
大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 客員教授				
徳島県「個別避難計画」作成促進事業アドバイザー 熊本県避難支援体制づくりアドバイザー				
地域安全学会の査読を2件担当 JDRの査読を1件担当				

■ 吉 田 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術著書) バス事業の事故防止と安全管理 ― 乗合バスを中心に	共著	2023年10月	安全工学会	安全工学 第62号第5巻, P285-290
(その他、論考・研究資料等) 発言しやすい職場環境の醸成に向けた研究	共著	2023年6月	西日本旅客鉄道 安全研究所	あんけん研究成果レポート 第16巻, P16-19
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 失敗事例に潜む背後要因の一考察 (トンネル火災事故)	単独	2023年7月15日	失敗学会	第20回失敗学会大阪夏の大会, 大阪産業創造館
職場での発言のしやすさと発言を抑制する理由に関する基礎調査	共同	2023年8月26日	日本応用心理学会	日本応用心理学会第89回大会, 亜細亜大学
心理的安全性および安全に関する発言のしやすさが安全行動に及ぼす影響	共同	2023年9月2日	産業・組織心理学会	第38回大会, 静岡県立大学
列車内閉じ込めに遭遇した乗客の精神的負担とその軽減策について ― 2023年1月の京都地区で発生した大雪にともなう長時間停車を例に ―	単独	2024年1月28日	日本セーフティプロモーション学会	日本セーフティプロモーション学会第17回学術大会, 長岡京市生涯学習センター
(招待講演) 鉄道運転士の研究から考えるタクシードライバーの働きがい	単独	2023年7月3日	なにわ経営セミナー 同好会	第142回なにわ経営セミナー
都市部での地震発生にともなう公共交通への影響 ― 大阪北部地震(2018年)を振り返って ―	単独	2023年9月29日	名古屋市交通局	2023年度安全講演会
私が見た福知山線列車事故	単独	2023年12月4日	国土交通省 物流・自動車局	地方運輸局事故調査担当者会議
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会 公益事業学会 鉄道史学会 産業・組織心理学会 日本セーフティプロモーション学会 失敗学会				
(社会貢献活動) 事業用自動車事故調査委員会 独立行政法人自動車事故対策機構指導講習業務検討委員会				
(その他業績として記載を希望する事項) <u>報道・取材協力</u> (テレビ)「山陽道トンネルで車両火災 40時間後によりやく消し止められる 夏の高気温や換気施設など要因が重なる」関西テレビ「newsランナー」, 2023年9月6日 (記事)「業界構造に目を向けよ 消費者への理解を促して」物流ニッポン新聞, 2023年10月31日 (記事)「孤独が牙をむく時 小田急, 京王線無差別殺傷事件 あすから相次ぎ初公判」東京新聞, 2023年6月25日 (記事)「地鉄事故直前 退避ルール順守困難か」読売新聞, 2023年6月6日 (記事)「作業膨大ルール形骸化 地鉄事故1か月 見張り不十分に」読売新聞, 2023年5月11日				

研 究 業 績

■ 岡 本 満 喜 子

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(その他, 論考・研究資料等) アクティブ・ラーニングを活用した交通安全教育— 研究紹介と展望 —	単著	2023年11月25日	日本交通安全教育普及協会	交通安全教育, No.692, 6-15頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 自転車用ドライブレコーダ映像とリスク可視化アプリを用いた参加型交通安全教育の試み	共同	2023年 8 月 6 日	日本交通心理学会	第88回大会 於名古屋大学
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本交通心理学会 (規程委員会委員) 日本応用心理学会 日本プラントヒューマンファクター学会 日本交通科学学会 日本機械学会 (法工学専門会議運営委員), 業務上過失事件裁判例研究会				
(社会貢献活動) 運輸安全委員会 総合部会 運輸安全委員会 海事部会委員 2017年10月～現在 運輸安全委員会 海事専門部会委員 2017年10月～現在 SMI 都心ライン自動運転技術等検討分科会委員 2023年 6 月～現在				

■ 桑 名 謹 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 環境政策と責任保険 事後・事前的措置と としての経済効果の定量分析	単著	2023年1月	関西大学出版部	
(学術論文) カーボンニュートラルに向けた日本の鉄鋼 業のイノベーション戦略	共著	2023年5月	日本リスクマネジメント学会	危険と管理 第54号, P48-65 (査読有) 共著者名: 小川元無, 村田崇暢
(その他, 論考・研究資料等) 時評 交通事故被害者救済制度としての責 任保険の1本化	単著	2023年11月	高速道路調査会	高速道路と自動車 2023年10月号, P7
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 災害保険をめぐる昨今の動向と課題	単独	2023年2月16日	日本自然災害学会	第5回ホンネで語ろう「防災イブニング カフェ」, オンライン
SDGs とファッション	単独	2023年2月18日	①持続可能性と資源 貿易研究会, ②東京 新世界経済研究会, ③立教大学経済研究 所国際部会ワークシ ョップの3つの研究 会共催の研究報告会	立教大学池袋キャンパス
カーボンニュートラルとゼネコンの中高層 木造建築戦略の課題	単独	2023年9月30日	日本リスクマネジメント学会	第48回全国大会・創立45周年記念大会, 阪南大学あべのハルカスキャンパス
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境社会学会 法と経済学会 PL研究学 会 日本私法学会 日本情報ディレクトリ学会				
(社会貢献活動) 上智大学大学院地球環境学研究科同窓会役員 日本リスクマネジメント学会 理事・事務局長代理				

研究業績

■ 河野和宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 編集後記	単著	2023年7月	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター年報2022, No.13, P91-92 (査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 情報セキュリティ教育におけるアナログゲームの利用可能性	単独	2023年1月27日	電子情報通信学会情報セキュリティ研究専門委員会	2023年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS 2023), 8 pages, リーガロイヤルホテル小倉 (ハイブリッド開催) (査読なし)
(招待講演) XRを用いた地震体験アプリケーションの開発と効果の検証	単独	2023年7月7日	「震災対策技術展」大阪 実行委員会	第10回「震災対策技術展」大阪, マイドームおおさか
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (C)	代表	2021~2023	1040 (2990)	ユーザ視点に立脚した情報セキュリティ・モラル学習ツールの開発
以下、フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)				
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM研), 専門委員 (2020年4月1日~) 電子情報通信学会, 情報・システムサイエティ和文論文誌編集委員会, 編集委員 (2019年4月1日~) 吹田市個人情報保護審議会委員 (2019年10月~) 震災対策技術展, 「XRを用いた地震体験アプリケーションの開発と効果の検証」(2023年7月7日) 経営倫理実践研究センター (BERC), 関西研究会「DX時代の情報セキュリティ」(2023年11月6日)				
(その他業績として記載を希望する事項) 情報処理安全確保支援士 (登録番号: 015391) 関西大学 IT センター副所長 (2020年10月~) IEICEの情報・システムサイエティ論文賞を受賞 (2023年7月)				

■ 城下英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有場合はその旨
(著書) 語り継ぐべき原子力災害——フクシマとチェルノブイリ——	分担執筆	2023年12月	東信堂	家田修(編著). 第12章「災害と事故:「原発災害」の意味」(pp.335-360)を担当.
(学術論文) What is Needed for Fostering Future Leaders of Risk, Crisis, Disaster and Development Management (RCDDM) in Higher Education Institutions	共著	2023年3月	関西大学なにわ大阪研究センター	なにわ大阪研究, 第5号, 共著論文 (Corsel Denise, Ray-Bennett Nibedita S., Shiroshita Hideyuki, Jackson Peter, Reilly Paul, Dixon Sarah, Kanoshima Emiko, Takatorige Toshio, Kawaguchi Toshihiro, Hayashi Yoshinari, Fu Siqu), pp.17-44 (査読無し)
生活の中の防災を発見する防災教育: 泉大津市におけるワークショップ	共著	2023年3月	関西大学なにわ大阪研究センター	なにわ大阪研究, 第5号, 共著論文(城下英行, 藤野華世) pp.1-15 (査読無し)
防災分野は拡大しているか: 国連防災世界会議のパブリックフォーラムの比較	共著	2023年3月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究, 第13号, 共著論文(城下英行, 高島毛敏雄, 辛島恵美子, Ray-Bennett, N.S.) pp.19-32 (査読無し)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表: 自発表のみ) 防災学習はどの程度記憶に残るのか	単独	2023年9月18日	日本自然災害学会	第42回日本自然災害学会学術講演会, 金沢大学
Snakebites: Causes of Avoidable Indirect Disaster Deaths	共同	2023年9月30日	Integrated Disaster Risk Management Society	IDRiM 2023, Online
(招聘講演) The Value of Disaster Education		2023年1月19日		Building Capacity of Health Journalists on Reporting Disasters Triggered by Natural Hazards and Human Activities, Pakistan (Online)
防災の学びには何が必要か——良い実践をどのように活かすのか		2023年3月4日		稲むらの火講座, 稲むらの火の館
迫りくる地震・津波に備える～終わらない防災対策の重要性～		2023年5月20日		認定NPO法人岸和田健老大学市民公開講座, 阪南市サラダホール
防災の日常化と日常の防災化		2023年7月5日		京都大学第29回市民防災講座——災害リスクを考える——, ホテルグランヴィア和歌山
名古屋駅周辺の自然災害リスクと対策: 災害・減災・防災の違いに着目して		2023年9月4日		第13回名古屋まちづくり情報交流会, 名古屋ビルヂング
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費・基盤研究(C)	代表	2023年度～ 2025年度	3300	「パフォーマンス」による総合的な参加型防災教育モデルの構築
The Impact Builder Competition, University of East London	分担	2023年9月～ 2024年7月	0	Agent-Based Modelling for Flood Evacuation as Inclusive Disaster Risk Reduction: Pilot Participatory Action Research in British and Japanese Schools (AEVac-PAR)
(受託研究) 西日本旅客鉄道株式会社	代表	2023年度	1100	公共交通と防災教育: 災害と事故の関係に着目して
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会(企画委員, 学術講演会部会委員) 日本安全教育学会				

研 究 業 績

<p>日本災害情報学会（学会誌編集委員会委員）</p> <p>地域安全学会</p> <p>科学技術社会論学会（理事）</p> <p>地区防災計画学会</p> <p>Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society</p>
<p>（社会貢献活動）</p> <p>大阪府 安全教育推進委員会 委員長</p> <p>泉大津市 防災会議 委員</p> <p>印南町 防災会議 委員</p> <p>大阪府立吹田東高等学校学校協議会 委員</p> <p>高槻市教育委員会事務「点検・評価」</p>
<p>（その他業績として記載を希望する事項）</p> <p>President, Avoidable Deaths Network</p> <p>大阪教育大学 学校安全推進センター 共同研究員</p> <p>特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム 理事</p> <p>和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師（2023年1月23日，印南町公民館・2023年10月11日，印南町防災福祉センター）</p> <p>城下英行・井浦崇・奥村与志弘「大阪の災害の実態解明とデジタルメディア技術を用いた防災教育」，関西大学なにわ大阪研究センター2022年度研究成果報告会（2023年3月11日，関西大学千里山キャンパス）</p> <p>UCL 講義「Reimagining 'disaster education': perspectives and methodologies」の「School Disaster Education in Japan」（2023年5月11日，オンライン）</p> <p>関大の知にふれる「生活の中の防災」（2023年5月30日，大阪府立高槻北高等学校）</p> <p>ソーシャル・コミュニケーションリーダー（SCL）養成講座「まなびのための防災教育のデザイン」（2023年7月29日，関西大学梅田キャンパス & オンライン）</p> <p>第42回日本自然災害学会学術講演会スペシャルセッション ホンネで語ろう「[ほうさい] イブニングカフェ『防災教育の現状と課題』，話題提供（2023年9月18日，金沢大学）</p> <p>大阪市東淀川区BCP学びの場講師（2023年10月6日，東淀川区役所・2023年12月22日，東淀川区役所）</p> <p>阿武山サポーター活動の意義，阿武山観測所サポーター養成講座2023（2023年11月25日，京都大学阿武山観測所）</p> <p>Snakebites: Causes of Avoidable Indirect Disaster Deaths, IDRiM Task Force Implementation Gap Seminar（2023年12月8日，オンライン）</p> <p>いわて高等教育コンソーシアム2023年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育を考える」（2023年12月16日，マリオス）</p> <p>日本における最近の防災教育，嘉義縣防災教育輔導團辦理台日防災實務交流計畫，（2023年12月26日，嘉義縣政府教育處）</p>

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 災害ケースマネジメント等の検討	共著	2023年5月	厚生労働省 (厚生労働行政推進 調査事業費)	「災害発生時の分野横断的かつ長期的な マネジメント体制構築に資する研究」(代 表：浜松医科大学・尾島俊之教授)令和 3年度 総括・分担研究報告書Ⅱ-2、本文 pp.52-63を菅が執筆、pp.64-73を菅・中 村・坪井・山本が共同執筆(査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 多重被災の被害構造と被災者の避難行動・ 生活再建過程の把握に関する研究 — 佐賀県杵島郡大町の豪雨災害を事例 として	共同	2023年3月18日	社会学系4学会連合	第9回震災問題研究交流会(社会学系4 学会連合) 坪井壘太郎・菅磨志保・狭間勇城(於： 早稲田大学)
重複被災による被害と被災者支援・生活復 興に関する研究 — 佐賀県大町町における2019年と2021年 の豪雨災害を事例として	共同	2023年11月19日	地域安全学会	地域安全学会・一般論文+ポスター発 表、坪井壘太郎・菅磨志保・尾島俊之 (於：静岡県地震防災センター)地域安全 学会梗概集(53巻：65~68頁)
(招待講演) 市民による災害支援活動の可能性と課題 (基調講演)	単独	2023年1月15日	日本赤十字社・大阪 府支部	令和4年 赤十字ボランティア防災研修 (於：日本赤十字社・大阪府支部)
災禍に対応する市民活動の展開 — 災害研究の視点から(講演)	単独	2023年2月11日	たかつき市民活動ネ ットワーク	たかつき市民活動ネットワーク2022年度 連続セミナー (於：高槻市生涯学習センター)
「災害ボランティア」活動の展開 — 前史から“元年”を経て現在まで (パネリスト)	単独	2023年2月21日	東京都社会福祉協議 会/東京ボランティ ア・市民活動センタ ー(TVAC)	東京憲章勉強会「関東大震災100年とこ れからの市民防災」第二弾：市民による 救援活動の過去・現在・未来(Zoom)
市民による災害支援活動の展開 — その可能性と課題(講演)	単独	2022年11月20日	財団法人消防防災科 学センター	令和5年度オンライン版市町村職員防災 連続講座
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費	研究 分担者	2022年度 ~2024年度	300 (18372:R5年度分)	災害時の保健・医療・福祉及び防災分野 の情報集約及び対応体制における連携推 進のための研究(代表:浜松医科大学・ 尾島俊之教授)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、日本都市学会・関東都市学会、日本NPO学会、地域社会学会 日本災害復興学会、日本災害情報学会、地域安全学会				
(社会貢献活動) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(2004年~現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(2012年3月~現在に至る) 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事(2015年12月~現在に至る) 奈良県「奈良県地域防災計画検討委員会」委員(2021年4月~現在に至る) 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)』審査委員会」委員・座長(2021年9月~現在に至る) 大阪府「大阪府河川整備審議会」委員(2021年10月~現在に至る) 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム(JPF)「JPF国内事業審査分科会」委員(2021年12月~現在に至る) Yahoo!基金 2024年度被災地復興・防災・減災活動支援助成プログラム選考委員(2023年10月~現在に至る)				

研究業績

■ 菅原慎悦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 『復興を描く：Redesign, A Decade From The Great East Japan Earthquake and Beyond』	共著	2023年10月	土木学会	村上道夫・中島みき・吉田学と共著，司 会：浦田淳司・中島崇，座談会「原子力 災害と復興，そしてエネルギー問題にい かに向き合うのか」(pp.150-159：土木学 会誌107 (1) の座談会記事の書籍化)
(学術論文) The multistability of predictive technology in nuclear disasters	単著	2023年4月	Sage	Social Studies of Science 53(4): 495- 521 DOI: 10.1177/0306312723116160 (査読有)
Conceptual Exploration of Safety Goals for Microreactors	単著	2023年5月	International Conference on Nuclear Engineering	Proceedings of the 30th International Conference on Nuclear Engineering, ICONE30-1357, May 24, 2023, Kyoto, Japan. (査読有)
「嫌とは言えない」状況の倫理的考察：災害 研究における文脈考慮型自律の提案	単著	2023年5月 (早期公開)	関西大学 社会安全学部	社会安全学研究14 (査読有)
ウラン含有廃棄物の取扱いに関する人文・ 社会科学的視点からの考察	共著	2023年9月	保健物理学会	保健物理58(3): 120-134. 保田浩志・齋藤 龍郎・麓弘道・土田昭司・笠井篤・古田 定昭と共著 (査読有)
Towards “extended” safety goals: Conceptual exploration of safety goals for microreactors	単著	2023年12月 (早期公開)	The Japan Society of Mechanical Engineers	Mechanical Engineering Journal, Article ID 23-00375, doi: 10.1299/mej.23-00375 (査読有)
(その他、論考・研究資料等)				
日本保健物理学会「人文・社会科学的視点 から考察する自然起源放射性物質含有廃棄 物の取扱い専門研究会活動報告書」	分担執筆	2023年2月	保健物理学会	日本保健物理学会専門研究会報告書シリ ーズ Vol.13 No.1 主に第5章を担当。
倫理と線引き	単著	2023年1月	日本原子力学会	日本原子力学会誌65(1), 62.
班目先生のこと	単著	2023年4月	日本原子力学会	日本原子力学会誌65(4), 258.
旅と自律	単著	2023年7月	日本原子力学会	日本原子力学会誌65(7), 467.
「災害の防止」と脆弱性	単著	2023年10月	日本原子力学会	日本原子力学会誌65(10), 631.
リスクは人の顔をしている	単著	2023年3月	日本リスク学会	リスク学研究32(3), 201-203.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
安全目標における「社会」の位置付けに関 する概念的検討	単独	2023年3月14日	日本原子力学会	日本原子力学会2023年春の年会，東京大 学駒場キャンパス。
Addressing the 'beyond control' in risk governance: Case of nuclear safety goals	単独	2023年6月21日	Society for Risk Analysis Europe	SRA Europe 2023, Lund, Sweden.
Uncontrolled but Intentional: Addressing the Conundrum of Uranium Waste Disposal	共同	2023年8月30日	RICOMET	Yasuda, H., Saito, T., Fumoto, H. と共 著，RICOMET2023, Dessel, Belgium.
原子力（学会）と哲学	単独	2023年9月8日	日本原子力学会	日本原子力学会2023年秋の大会，名古屋 大学東山キャンパス。
参加型・多層的ガバナンスとその課題	単独	2023年9月8日	日本原子力学会	日本原子力学会2023年秋の大会，名古屋 大学東山キャンパス。
気候変動問題における将来世代への配慮を 目指す意思決定制度にかかる考察	共同	2023年9月17日	科学社会学会	小林誠道と共著，科学社会学会第12回年 次大会，大阪大学吹田キャンパス。
「社会安全」とは何か：「安全」が「社会的」 であることのSTS的再検討	単独	2023年9月17日	科学社会学会	科学社会学会第12回年次大会，大阪大学 吹田キャンパス。
Re-discovering Shame for Nuclear Safety: Conceptual Confusion of Mundane Safety and Resilience to 'Extreme'	共同	2023年11月9日	Society for Social Studies of Science	Juraku, K. と共著，4 S2023, Honolulu, Hawaii.
原子力事故時の「予測」の意味合いに関す る考察	共同	2023年12月10日	科学技術社会論学会	寿楽浩太と共著，科学技術社会論学会 第22回年次研究大会，大阪大学豊中キャン パス。

社会安全学研究 第14巻

(招待講演)				
OECD/NEA ワークショップ「第3回 意思決定の最適化に係るステークホルダー・インボルブメント 準備ウェビナー」参加報告	単独	2023年2月24日	日本エヌ・ユー・エス株式会社（原子力規制庁委託事業）	令和4年度国際放射線防護調査作業部会・第5回会議，オンライン。
The multistability of predictive technology in nuclear disasters	単独	2023年5月19日	科研費研究会	予測科研研究会，東京電機大学。
RICOMET2023参加報告	単独	2023年10月31日	保健物理学会	日本保健物理学会・放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会，オンライン。
社会的リスクに対する安全目標の役割	単独	2023年12月8日	関西原子力懇談会	関西原子力懇談会 第2回安全評価技術・基準体系に関する調査委員会，大阪科学技術センター。
経験できないもののポスト現象学	単独	2023年12月16日	関西工学倫理研究会	関西工学倫理研究会，関西大学千里山キャンパス。
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科研費(基盤C)	分担	2020-2022年度 (延長中)	936 (4,290)	リスクと社会の相互作用における「予測」の逆機能の批判的検討
科研費(基盤C)	代表	2022-2025年度	1427 (4,030)	専門家間で意見が分かれるリスク問題の専門知集約過程に係る科学技術社会的分析
以下，フリー記入				
(所属学会)				
日本リスク学会 理事				
日本原子力学会 倫理委員会委員，次期軽水炉の技術要件検討ワーキンググループ(フェーズ2)委員				
日本保健物理学会 放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会委員				
科学社会学会，科学技術社会論学会，日本自然災害学会				
Society for Risk Analysis, Society for Social Studies of Science				
(社会貢献活動)				
東京大学大学院工学系研究科原子力専攻2023年度後期「福島学演習」講師				
うめだ南トラ研究会				
一般社団法人複合リスク学際研究・協働ネットワーク理事				
文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測・政策基盤調査研究センター専門調査員				
GLOBAL2024プログラム委員				
日本原子力研究開発機構高速炉研究開発DX化検討委員会委員				
関西原子力懇談会安全評価技術・基準体系に関する調査・検討委員会委員				
(その他業績として記載を希望する事項)				
日本原子力学会新型炉部会 優秀講演賞(2023年3月)				
日本原子力学会リスク部会 奨励賞(2023年9月)				

研究業績

■ 福井 敬 祐

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Modified Cp Criterion in Widely Applicable Models	共著	2023年5月	KES International	Hirokazu Yanagihara, Isamu Nagai, Yuta Hijikawa, Intelligent Decision Technologies, 173-182. (査読有)
The ergonomic relationship between hand size and mesh fixation difficulty when using endoscopic hernia repair staplers based on a questionnaire survey	共著	2023年6月	大阪医科薬科大学	Emiko Kono, Kohei Taniguchi, Yuri Ito, Sang-Woong Lee, Yoshiro Imai, Kazuhisa Uchiyama, Bulletin of Osaka Medical and Pharmaceutical University, 69(1), in press. (査読有)
都道府県別の社会経済状況を測る合成指標 の開発：健康寿命の都道府県間格差対策に 向けて	共著	2023年6月	厚生労働統計協会	片岡葵, 井上勇太, 西岡大輔, 佐藤倫治, 伊藤ゆり, 近藤尚己, 厚生指標, 70 (6), 9-18. (査読有)
デジタル・リーディングにおけるスクロー ル方略の分類と判別アルゴリズムの検討	共著	2023年7月	日本教育工学学会	尾原 健太, 氏間 和仁, 小田 凌也, 日本 教育工学学会論文誌, 47(2), 197-205. (査 読有)
Interactions Between Junior High School Students and Young Children in Home Economics Class: An Examination From Students' Feelings Toward Young Children	共著	2023年8月	日本家政学会	Yu Ito, Ryoya Oda, The Japan Society of Home Economics, 74(7), 1-15. (査読 有)
Cost-effectiveness of preventive aspirin use and intensive downstaging polypectomy in patients with familial adenomatous polyposis: A microsimulation modeling study.	共著	2023年8月	Cancer medicine	Eiko Saito, Michihiro Mutoh, Hideki Ishikawa, Kenichi Kamo, Megumi Hori, Yuri Ito, Yichi Chen, Byron Sigel, Masau Sekiguchi, Osamu Hemmi, Kota Katanoda, Cancer medicine, 12(18), 19137-19148. (査読有)
Impact of cancer and other causes of death on mortality of cancer patients: A study based on Japanese population-based registry data.	共著	2023年9月	Union for International Cancer Control	International journal of cancer, 153(6), 1162-1171, Hadrien Charvat, Tomohiro Matsuda, Kota Katanoda, Yuri Ito. (査 読有)
Ridge parameter optimization using a modified Cp statistic in multivariate generalized ridge regression for the GMANOVA model	共著	2023年12月	Computer Science	Hirokazu Yanagihara, Isamu Nagai, Yuta Hijikawa, Procedia Computer Science, 225, 1651-1660. (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) がん対策へのマイクロシミュレーションの 活用	単独	2023年12月2日	ヘルスケアデータサイ エンス学会	第二回ヘルスケアデータサイエンス学会 (京都市)
東広島市行政課題に対するデータサイエン スからの取り組み	単独	2023年11月12日	日本計算機統計学会	日本計算機統計学会第37回シンポジウム (宮崎市)
Microsimulation for Cancer Control in Japan	単独	2023年6月23日	Scheduling Society of Japan	International Symposium on Scheduling 2023 (Tsukuba)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2023年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・若手研究	代表	2021~2024年	1,300 (4,420)	Microsimulation model による都道府県 のがん対策支援ツール開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2023~2027年	30 (200)	社会経済格差をふまえた保険者別向老期 における孤立予防の地域デビュー促進の 実証研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2022~2025年	200 (800)	大腸がんリスク評価のためのマイクロシ ミュレーションの精緻化と改良
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2022~2024年	350 (1,100)	傾向スコアマッチング・症例対照研究・ モデル解析を用いた肺癌CT 個別化検診 の確立

社会安全学研究 第14巻

文部科学省科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究	分担	2022～2023年	150 (450)	市民参加でつくる「住むだけで健康になるスマートシティ」
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	分担	2020～2024年	100 (500)	Fused-lassoによる広島・長崎の被爆に関する時空間リスク推定モデルの開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究A	分担	2019～2023年	600 (3,000)	健康政策を効果最大化と格差縮小の両軸で評価するためのツール開発：肺がんを事例に
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023～2025年	450 (1,350)	がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に与える影響と要因に関する研究
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023～2025年	700 (2,100)	がん検診受診率の妥当性評価のための研究
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023～2025年	300 (900)	がん対策における格差の要因の解明及び評価手法の確立に資する研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本統計学会				
日本疫学会				
日本公衆衛生学会				
日本癌学会				
(社会貢献活動)				
日本計算機統計学会 第37回シンポジウム 副実行委員長				
日本疫学会 広報委員会 メディア連携WG委員				
日本統計学会 和文誌編集委員会委員				
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 客員准教授				
広島大学 情報科学部 客員准教授				
タキイ種苗株式会社 データ分析アドバイザー				
東広島市データ分析アドバイザー				
大阪府ヘルスアップ支援会議有識者 委員				
広島県公民健康保険団体連合会 保険事業支援・評価委員会 委員				

研究業績書（大学院生）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆・単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
【学術論文】					
WONGSURIYANAN Chayanee	A Case Study of Disaster Risk Reduction in Schools for the Blind in Thailand.	共著	2023年6月	IGI Global	International Journal of Disaster Response and Emergency Management, 6(1), 1-14 (査読有) (Wongsuriyanan, C. & Tsuchida, S.) [DOI: 10.4018/IJDREM.3245746]
Chrioni TSHISWAKA TSHILUMBA	Understanding the Compound Risk Context of Goma City Through the Pressure and Release Model	共著	2023年2月	SSRN	preprint, Shingo NAGAMATSU と共著
小野 梓	子会社有事に関する親会社取締役の対応についての一考察	単独	2023年12月22日 掲載決定	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, (査読有)
林 昭信	中小企業の事業承継に対する新たなリスクファイナンス——地域金融機関とYSKによる株式永久保有型事業承継の事例——	単著	2023年4月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第54号, With/After コロナのリスクマネジメント, pp.66-87. (査読有)
	中小企業における親族外承継時の経営者保証について——金融機関から見た経営者保証の事例研究——	単著	2023年8月	事業承継学会	『事業承継』Vol.12, pp.76-93. (査読有)
山本真規子	水災害リスク低減に向けた居住移転誘導事業に関する費用便益分析——神戸市におけるケーススタディ——	共著	2023年8月	日本都市計画学会	都市計画報告集 No.22, 2023年8月, p360-p363, 越山健治
高橋 佑介	避難開始における論理的判断と直感的判断の関係に関する一考察	共同	2023年9月8日	土木学会	高橋佑介, 奥村与志弘, 第43回地震工学研究発表会講演論文集, D23-232, 6 p.
楊 東昇	津波避難タワーが居住住民の意識に及ぼす影響	共著	2023年11月	地域安全学会	村上龍之介・越山健治, 地域安全学会梗概集 No.53, 69-72
【その他、論考・研究資料等】					
小野 梓	JR西日本グループにおける内部統制システム及びリスクマネジメント体制の再構築	単独	2023年7月	経営倫理実践研究センター	経営倫理第106号, 7-12頁
氏名	発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
【学会発表】					
浦山 郁	地震対策促進のための仮想現実および拡張現実を用いた体験型学習アプリケーション開発の試み	共同	2023年10月28日～29日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第27回学会大会（福島学院大学駅前キャンパス・コラッセふくしま）（野元颯馬・土田昭司・河野和宏・Chayanee WONGSURIYANAN・浦山郁・静間健人・Titaya SARARIT）
Chrioni TSHISWAKA TSHILUMBA	Understanding the Compound Risk Context of Goma City Through the Pressure and Release Model	共著	2023年12月	Kansai University	Networking Meeting for students of DRR in KANSAI, Takatsuki Muse Campus, Shingo Nagamatsu と共著
Brazao Mendes DOMINGOS	Unveiling Influential Factors on Flood Evacuation Behavior in Response to CBEWS in Mozambique: A Study in the Licungo River Basin.	共著	2023年12月	Kansai University	Networking Meeting for students of DRR in KANSAI, Takatsuki Muse Campus, Shingo Nagamatsu と共著
小野 梓	安全の推進を目的としたパーパス経営に関する一考察——組織のパーパスの浸透と社員エンゲージメントの両立——	単独	2023年6月10日	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会研究発表大会での研究報告, 於 駒澤大学（東京）
野元 颯馬	地震対策促進のための仮想現実および拡張現実を用いた体験型学習アプリケーション開発の試み	共同	2023年10月28日～29日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第27回学会大会（福島学院大学駅前キャンパス・コラッセふくしま）（野元颯馬・土田昭司・河野和宏・Chayanee WONGSURIYANAN・浦山郁・静間健人・Titaya SARARIT）
小林 誠道	気候変動問題における将来世代への配慮を目指す意思決定制度にかかる考察	共同	2023年9月17日	科学社会学会	菅原慎悦と共著, 科学社会学会第12回年次大会, 大阪大学吹田キャンパス.
山崎 健司	東日本大震災における気仙沼市の関連死発生プロセス	共同	2023年3月17日	東日本大震災・原子力災害学術研究会	山崎健司, 奥村与志弘, 東日本大震災・原子力災害学術研究会集予稿集, pp.125-126, コラッセふくしま（福島県福島市）.

社会安全学研究 第14巻

山本真規子	建築物の外観耐震診断の可能性～2023年トルコ・シリア地震の事例分析～	単独	2023年9月7日	土木学会地震工学委員会	第43回土木学会地震工学研究発表会, 沖縄県那覇市(沖縄県市町村自治会館)
	水災害リスク低減に向けた居住移転誘導事業に関する費用便益分析—神戸市におけるケーススタディ—	単独	2023年11月12日	都市計画学会	2023年度 全国大会都市計画報告会, 岩手県盛岡市(岩手大学)
岩本 乃蒼	連報1(災害観に関する研究) 福島県須賀川市ダム災害「奇跡のアジサイ」が表象していること	共同	2023年12月3日	日本災害復興学会	近藤誠司・岩本乃蒼, 日本災害復興学会2023年度静岡大会予稿集, pp.11-12. 於・常葉大学
	連報2(災害観に関する研究) 長野県千曲川水害の被災経験者を対象とした「防災・復興曲線」調査	共同	2023年12月3日	日本災害復興学会	岩本乃蒼・近藤誠司, 日本災害復興学会2023年度静岡大会予稿集, pp.13-14. 於・常葉大学
高橋 佑介	避難開始における論理的判断と直感的判断の関係性に注目した証言記録分析	共同	2023年12月7日	東北大学他	高橋佑介, 奥村与志弘, 第13回巨大津波災害に関する合同研究集会, 東北大学災害科学国際研究所(宮城県仙台市).
前野 友志	日本のハンセン病政策を公衆衛生制度の変遷から評価する	単独	2023年7月29日	日本社会医学学会	第64回日本社会医学学会総会, 早稲田大学国際会議場
	ハンセン病に係る全国の資料館の比較分析—医療従事者の視点から—	共同	2023年10月31日	日本公衆衛生学会	第82回日本公衆衛生学会総会, つくば国際会議場
楊 東昇	津波避難タワーが居住住民の意識に及ぼす影響	共同	2023年11月19日	地域安全学会	地域安全学会秋季発表大会一般論文(静岡)
【招待講演】					
小野 梓	JR西日本のリスクマネジメントの再構築	単独	2023年5月9日	関西大学社会安全学部	寄附講座「企業の社会的責任と消費者教育」における招聘講演, 於 同大学高槻ミュージックキャンパス(大阪)
小林 誠道	連帯は言うのとやるでは大違い～気候運動の世代間連帯について～	単独	2023年11月8日	SusDI	SUSDI(サステイナビリティ技術設計機構), 談論風爽コラム on ZOOM, オンライン.
以下, フリー記入					
【所属学会】					
浦山 郁	日本原子力学会 日本社会心理学会 日本リスク学会				
小村 佳代	日本社会心理学会 日本看護学教育学会 日本看護科学学会 日本災害看護学会 日本慢性看護学会 日本リウマチ看護学会 国際臨床医学会				
WONGSURIYANAN Chayanee	The Society for Risk Analysis				
小野 梓	日本経営倫理学会				
野元 颯馬	日本災害情報学会				
林 昭信	日本リスクマネジメント学会 事業承継学会				
岩本 乃蒼	日本災害情報学会, 日本災害復興学会				
前野 友志	日本社会医学学会 日本公衆衛生学会				
【その他業績として記載を希望する事項】					
浦山 郁	関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト 次世代博士研究員(国立研究開発法人科学技術振興機構 次世代研究者挑戦的研究プログラム 関西大学 SPRING スカラシップ研究学生)(2022年1月31日から)2023年3月31日まで 甲南女子大学 人間科学部心理学科(心理調査法実習, 心理学統計法Ⅱ[非常勤講師]) 神戸親和大学(神戸親和女子大学) 文学部心理学科/国際文化学科(情報と統計, 心理学実験・実習B[非常勤講師]) 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科(心理学の基礎, 心理学理論と心理的支援[非常勤講師])				
小村 佳代	兵庫大学 看護学部 講師(常勤) 四條畷学園大学看護学部「災害看護論」非常勤講師				

研究業績書（大学院生）

野元 颯馬	大手前大学 通信教育課程「災害看護学」非常勤講師 関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト 次世代博士研究員（国立研究開発法人科学技術振興機構 次世代研究者挑戦的研究プログラム 関西大学 SPRING スカラシップ研究学生）2023年4月1日～現在 大精協看護専門学校 看護科（情報の科学 [非常勤講師]） 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科（心理学の基礎 [非常勤講師]）
-------	---